

2025年3月期 決算説明資料

スキルがつながる世界へ。

株式会社 フォーラムエンジニアリング

(東証プライム：7088)



1. 2025年3月期 決算概況と配当予想の変更について
2. 2026年3月期 通期業績予想と配当予想の変更
3. cognavi Vision2026（中期経営計画）の変更について
4. 国内各事業サービスの状況
5. AIマッチングの再開発について
6. 海外事業サービスの状況
7. 投資家エンゲージメントについて
8. Appendix

01

2025年3月期

決算概況と配当予想の変更について

連結 - 2025年3月期 決算概況

前期に対し、売上高 + 3,409百万円（+10.9%）、営業利益 + 1,171百万円（+38.7%）
通期業績予想に対し、売上高、利益ともに上回る結果。

	2025年3月期 実績	通期業績予想	進捗率	2024年3月期 実績	対前年増減比	
売上高	34,688	34,600	100.3%	31,279	+3,409	+10.9%
売上総利益	10,502			9,144	+1,357	+14.8%
売上総利益率（%）	30.3%			29.2%	+1.0%pts	-
販管費及び 一般管理費	6,300			6,115	+185	+3.0%
営業利益	4,201	4,000	105.0%	3,029	+1,171	+38.7%
営業利益率（%）	12.1%			9.7%	+2.4%pts	-
経常利益	4,284	4,070	105.3%	3,017	+1,266	+42.0%
税引前利益	4,282			3,016	+1,265	+42.0%
親会社株主に 帰属する当期純利益	2,884	2,725	105.8%	2,039	+844	+41.4%
ROE（%）	22.3%	20.0%	111.4%	15.7%	+6.6%pts	-

（単位：百万円）

連結 - 2025年3月期 決算概況（上期／下期）

	通期				上半期				下半期			
	2025年3月期 実績	2024年3月期 実績	対前年増減比		2025年3月期 実績	2024年3月期 実績	対前年増減比		2025年3月期 実績	2024年3月期 実績	対前年増減比	
売上高	34,688	31,279	+3,409	+10.9%	16,955	15,304	+1,651	+10.8%	17,733	15,975	+1,757	+11.0%
営業利益	4,201	3,029	+1,171	+38.7%	2,028	1,276	+751	+58.9%	2,172	1,753	+419	+23.9%
経常利益	4,284	3,017	+1,266	+42.0%	2,065	1,275	+789	+61.9%	2,218	1,741	+477	+27.4%
親会社株主に 帰属する当期純利益	2,884	2,039	+844	+41.4%	1,378	856	+522	+61.1%	1,505	1,183	+321	+27.1%
ROE（%）	22.3%	15.7%	+6.6%pts	-	-	-	-	-	-	-	-	-

（単位：百万円）

		2025年3月期 実績	通期業績予想	進捗率	2024年3月期 実績	対前年増減比	
フォーラム エンジニアリング	売上高	34,683	34,565	100.3%	31,279	+3,403	+10.9%
	営業利益	4,587	4,360	105.2%	3,223	+1,364	+42.3%
コグナビ インディア	売上高	20	30	68.2%	0	+20	-
	営業利益	▲ 371	▲ 350	-	▲ 193	▲ 177	-

(単位：百万円)

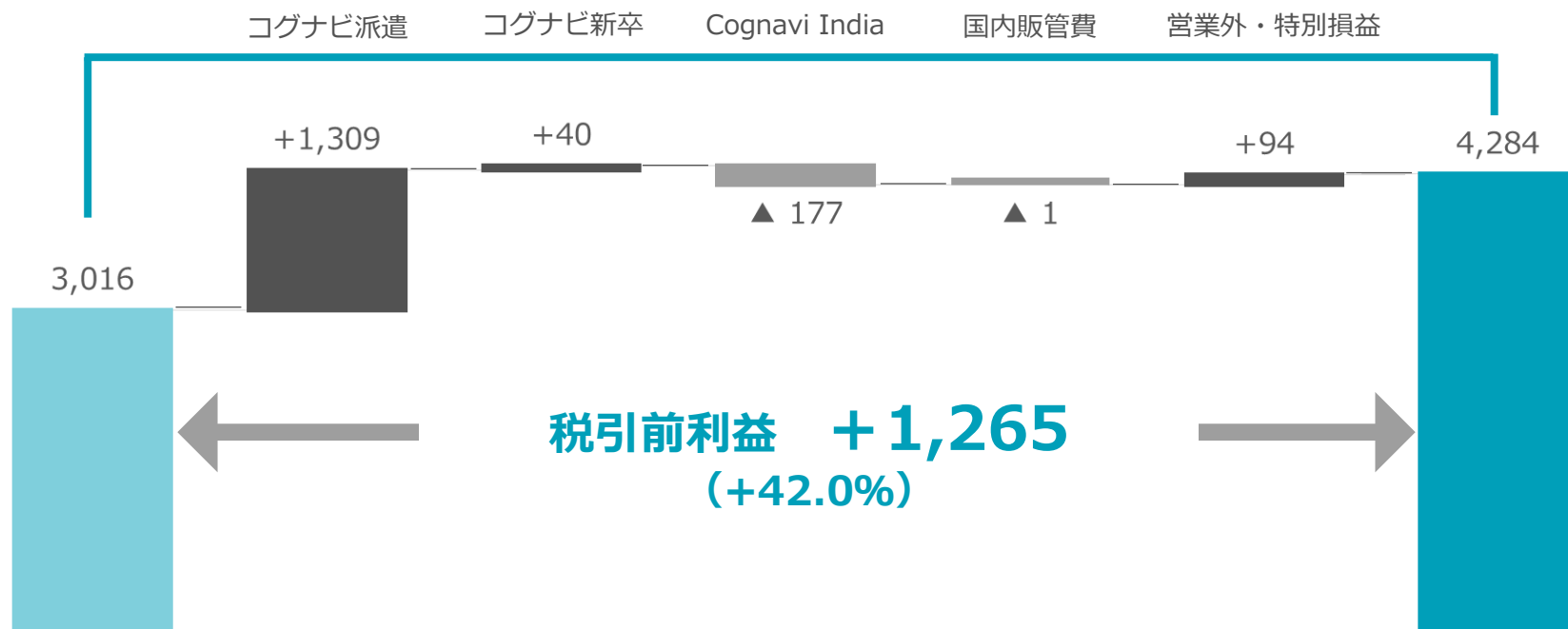
注*進捗率、前期比：どちらかがマイナス、もしくは1.000%以上の場合、一表記

注*通期業績予想は百万円以下を切り捨て、0としているため合計値が合わない場合がございます

注*連結時、連結調整区分にて、連結修正仕分等を入れております。

連結 - 税引前利益 前期との比較

(単位：百万円)

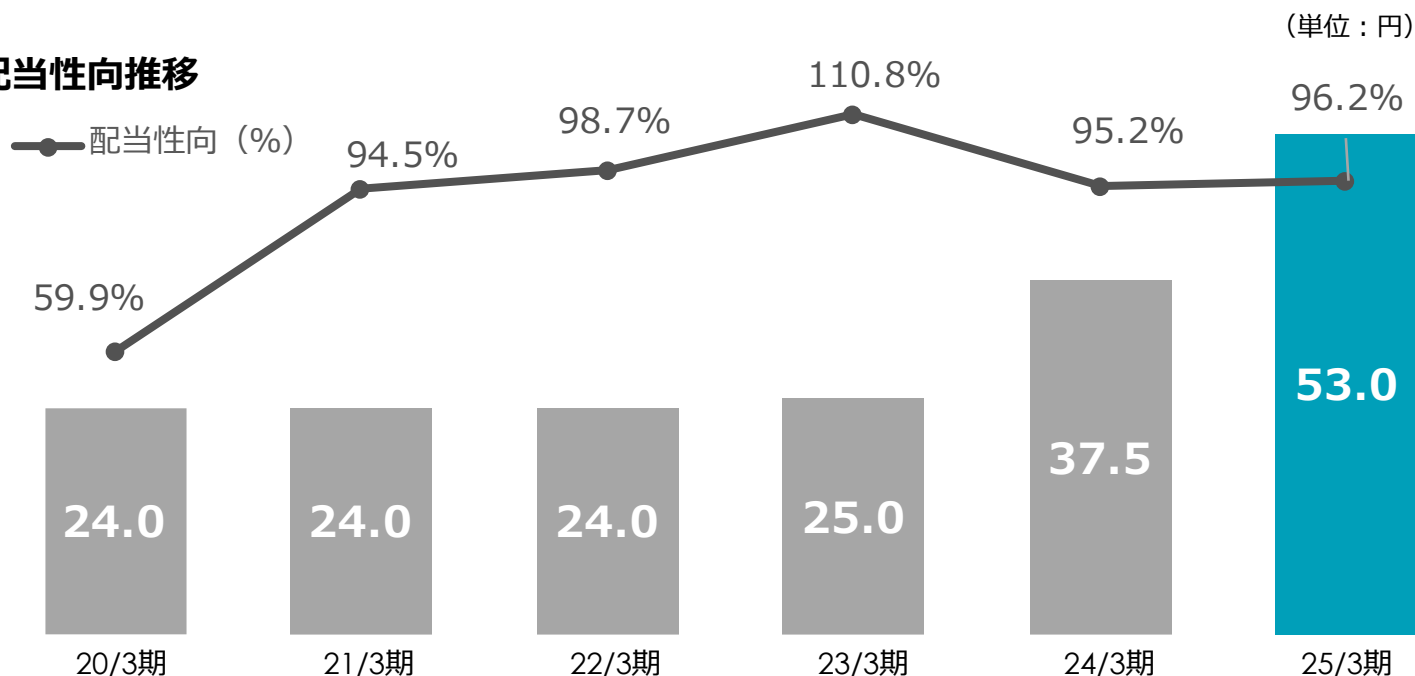


コグナビ派遣		コグナビサービス		Cognavi India		国内販管費		営業外・特別損益	
稼働者数増加	+363	コグナビ新卒成約+掲載増	+57	営業利益	▲177	人件費	▲55	Cognavi India 定期預金運用益/その他	+94
派遣単価上昇	+953	コグナビ転職/転籍 成約減	▲16			PR関連費	+42		
有給・休暇取得日数減	+120					情シス費/ソフト償却費	+37		
入社時給与	▲87					その他	▲26		
待機/その他	▲40								

1株当たり配当予想（2025年3月期）



配当金・配当性向推移



02

2026年3月期

通期業績予想と配当予想の変更

	2026年3月期 業績予想	2025年3月期 実績	対前年増減比	
売上高	38,200	34,688	+3,511	10.1%
営業利益	5,000	4,201	+798	19.0%
経常利益	5,035	4,284	+750	17.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	3,400	2,884	+515	17.9%
ROE (%)	25.0%	22.3%	+2.7%pts	-

(単位：百万円)

連結 - 2026年3月期 通期業績予想（上半期／下半期）

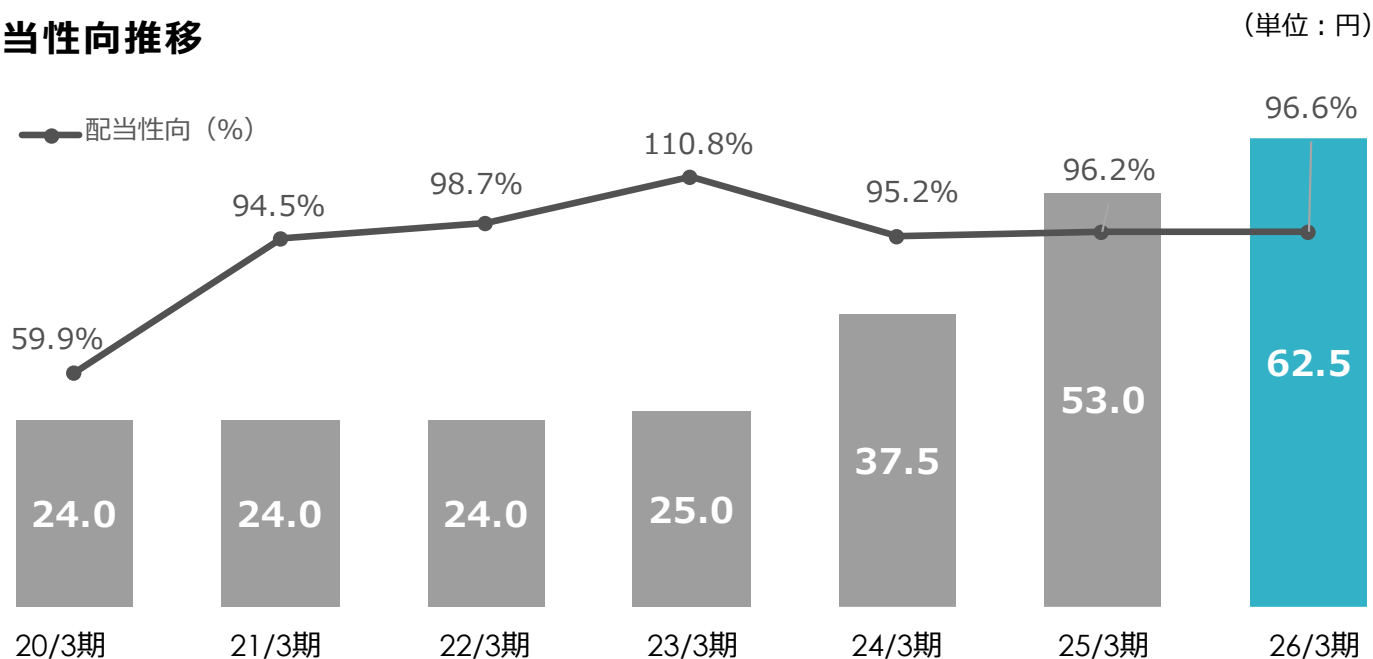
	通期				上半期				下半期			
	2026年3月期 業績予想	2025年3月期 実績	対前年増減比		2026年3月期 業績予想	2025年3月期 実績	対前年増減比		2026年3月期 業績予想	2025年3月期 実績	対前年増減比	
売上高	38,200	34,688	+3,511	10.1%	18,280	16,955	+1,324	+7.8%	19,920	17,733	+2,186	+12.3%
営業利益	5,000	4,201	+798	19.0%	1,925	2,028	▲ 103	▲5.1%	3,075	2,172	+902	+41.5%
経常利益	5,035	4,284	+750	17.5%	1,950	2,065	▲ 115	▲5.6%	3,085	2,218	+866	+39.0%
親会社株主に 帰属する当期純利益	3,400	2,884	+515	17.9%	1,295	1,378	▲ 83	▲6.1%	2,105	1,505	+599	+39.9%
ROE (%)	25.0%	22.3%	+2.7%pts	-	-	-	-	-	-	-	-	-

（単位：百万円）

1株当たり配当予想（2026年3月期）



配当金・配当性向推移



*2023年12月1日付けで普通株式1株につき2株の分割を行っています

03

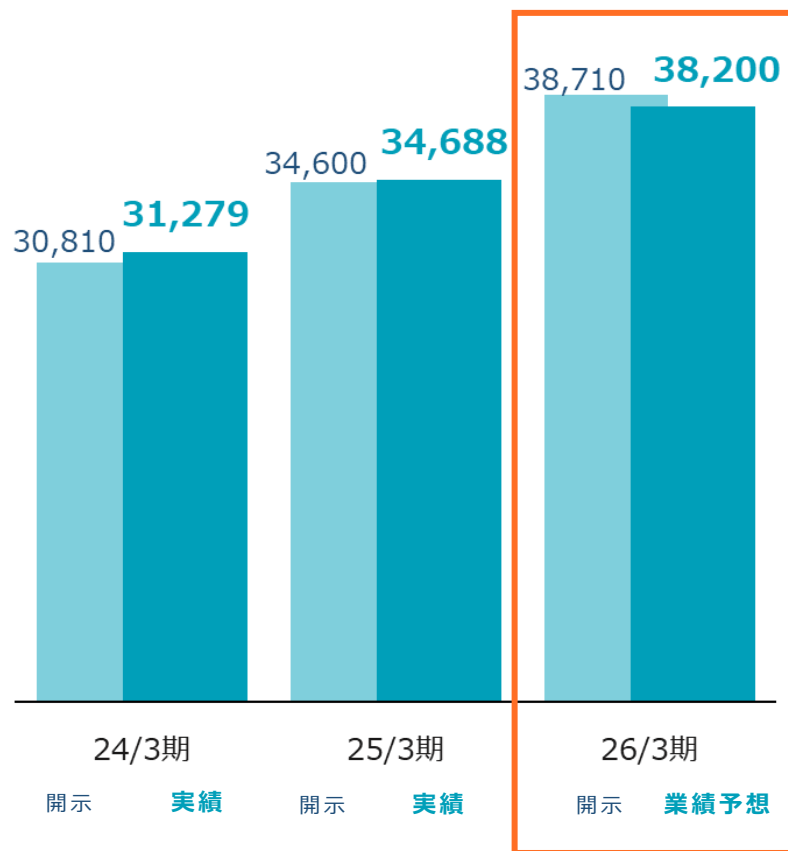
cognavi Vision2026

(中期経営計画) の変更について

中計 2 期目の実績を踏まえ、3 期目の計画数値を修正。売上高382億円、営業利益50億円の計画。

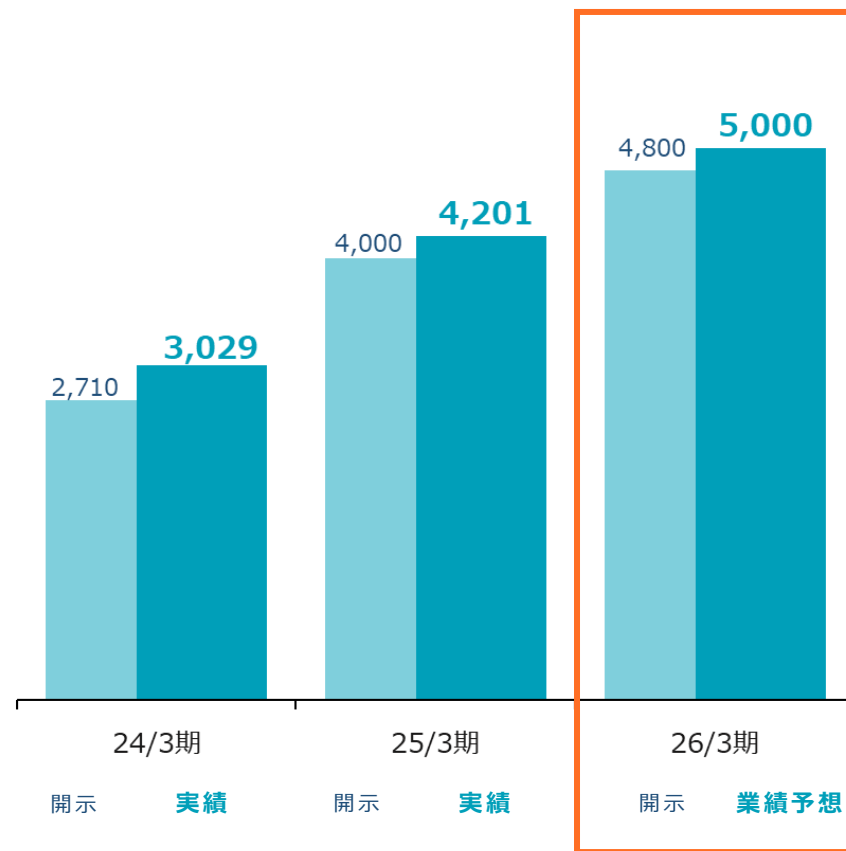
売上高

(単位：百万円)



営業利益

(単位：百万円)



2024年3月期 第2四半期決算説明において、以下の方針を公表。

経営課題

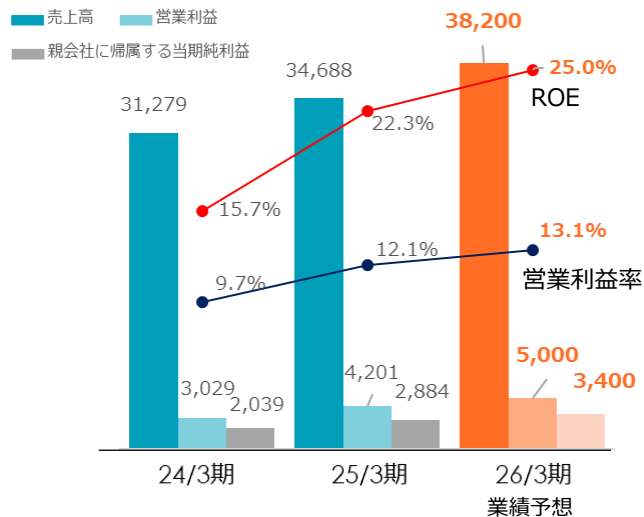
●企業価値（株価・時価総額）の向上が経営上の重要課題

方針

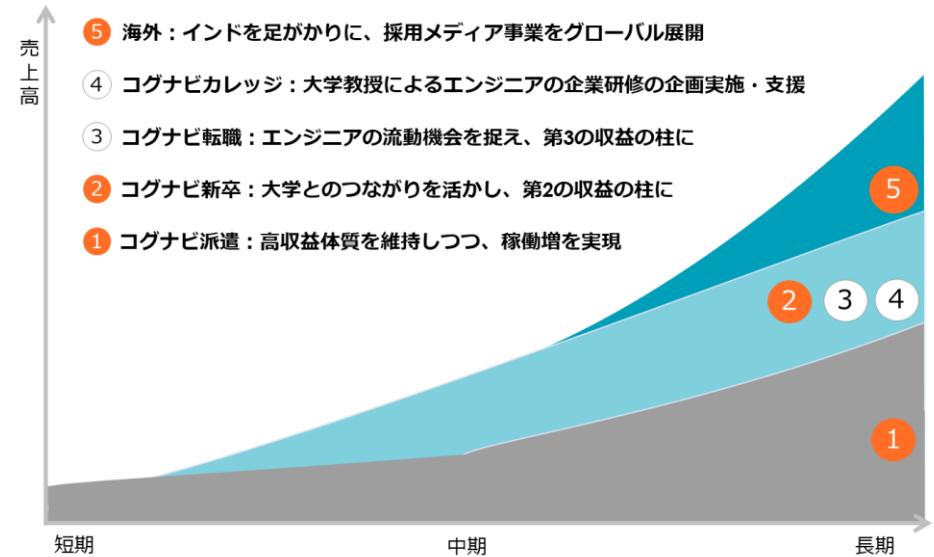
- ①cognavi Vision2026（営業利益率11.3%、ROE20.0%）の達成
- ②注力事業への集中と成長投資の実施
- ③株主還元として、「安定配当」「継続的な増配」の実現

3つの方針に対する対応状況は以下のとおり。営業利益率、ROEは2期目での達成を実現

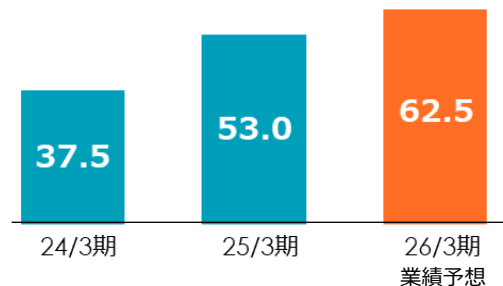
① cognavi Vision2026 (営業利益率11.3%、ROE20.0%)の達成



② 注力事業への集中と成長投資の実施



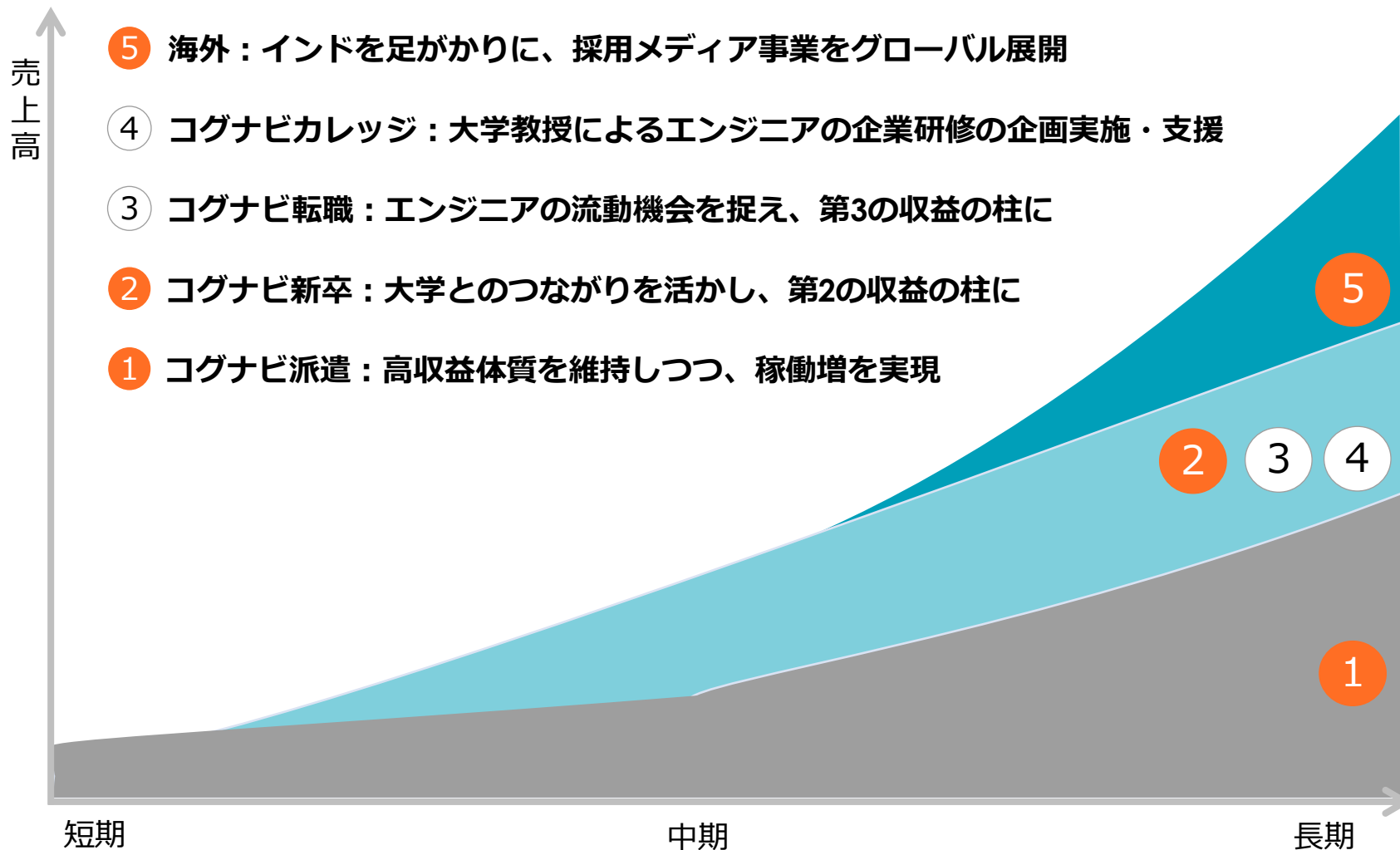
③ 株主還元として、「安定配当」「継続的な増配」の実現



04

国内各事業サービスの状況

次期中期経営計画「cognavi Vision2029」の策定を開始し、11月の中間決算において公表を予定。

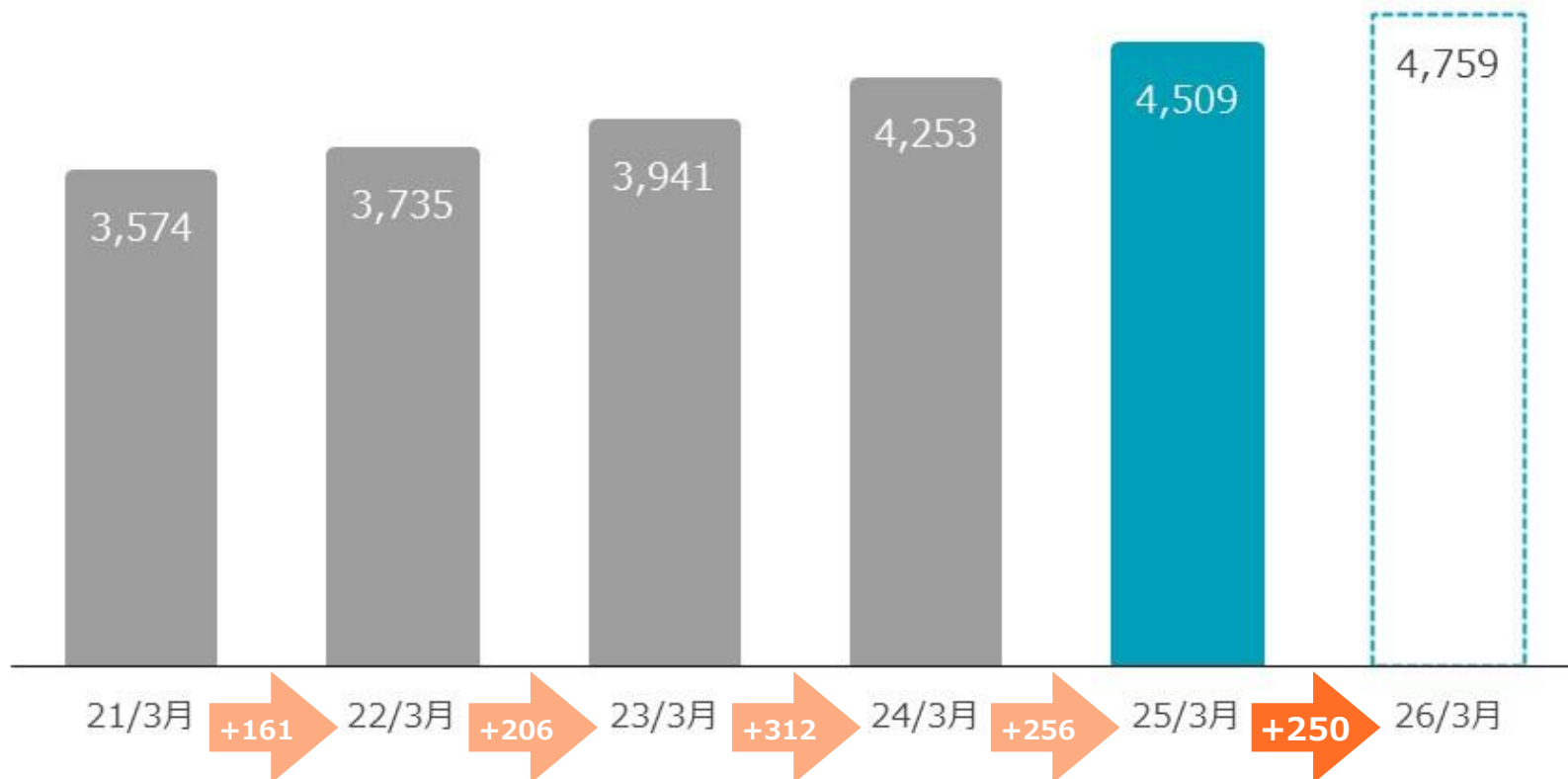


04. 国内各事業サービスの状況

コグナビ派遣

前期実績は256名増の4,509名。

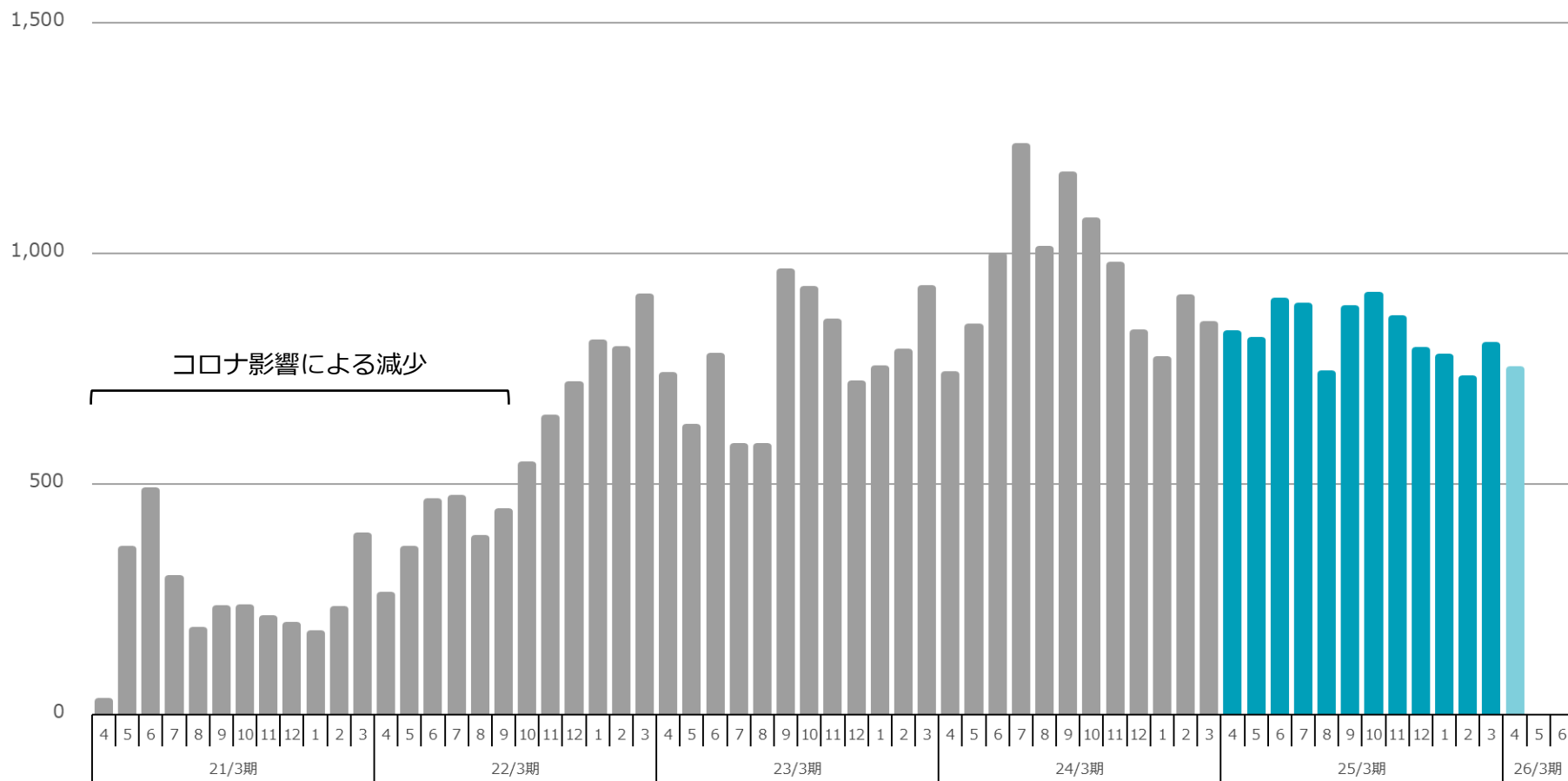
今期も継続してエンジニア採用に注力し、250名増の4,759名を計画。



注* 各期における3月度平均の数字

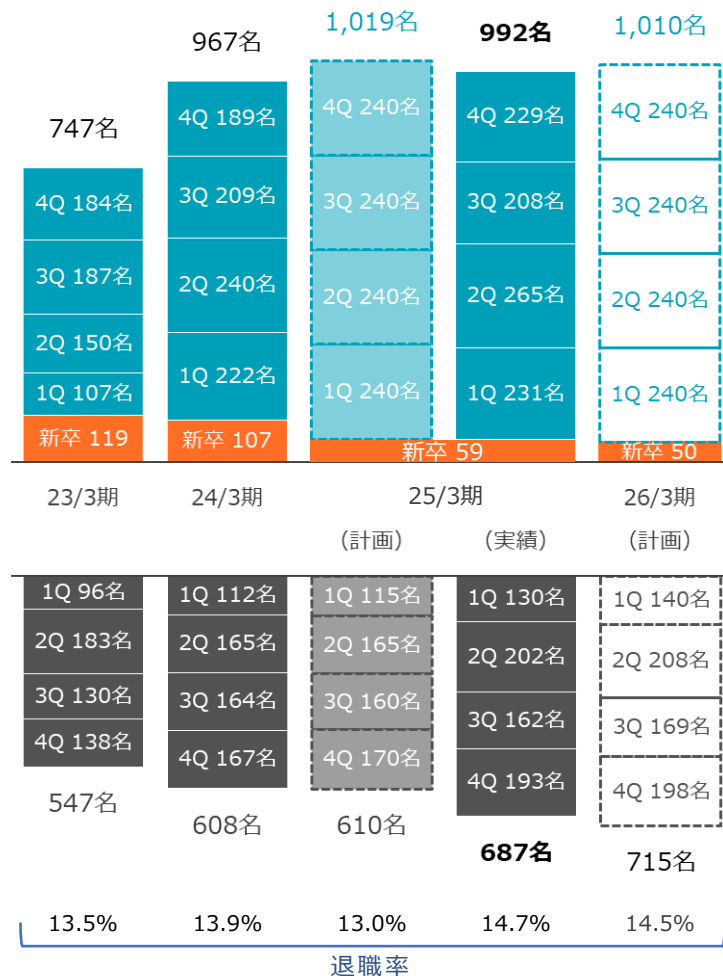
注* 今回発表より、より実態に近い「平均値」に変更。前回発表までは翌月初（4/1）数字を使用。

約800～900件／月のペースで安定して獲得。

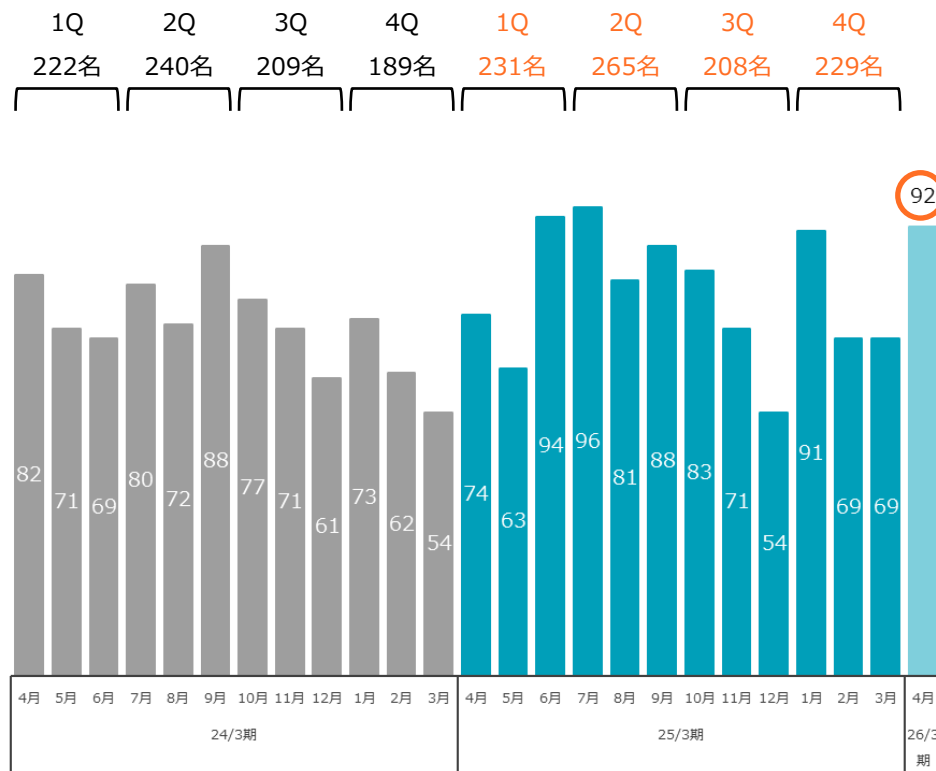


採用実績は993名。前期比+26名。計画1,019名に対しては▲26名。今期も80名／月の計画。
前期の退職率は14.7%と、24/3期比+0.8%。今期も同水準の退職率で計画。

採用数・退職数（期別）



採用数（四半期別・月別）



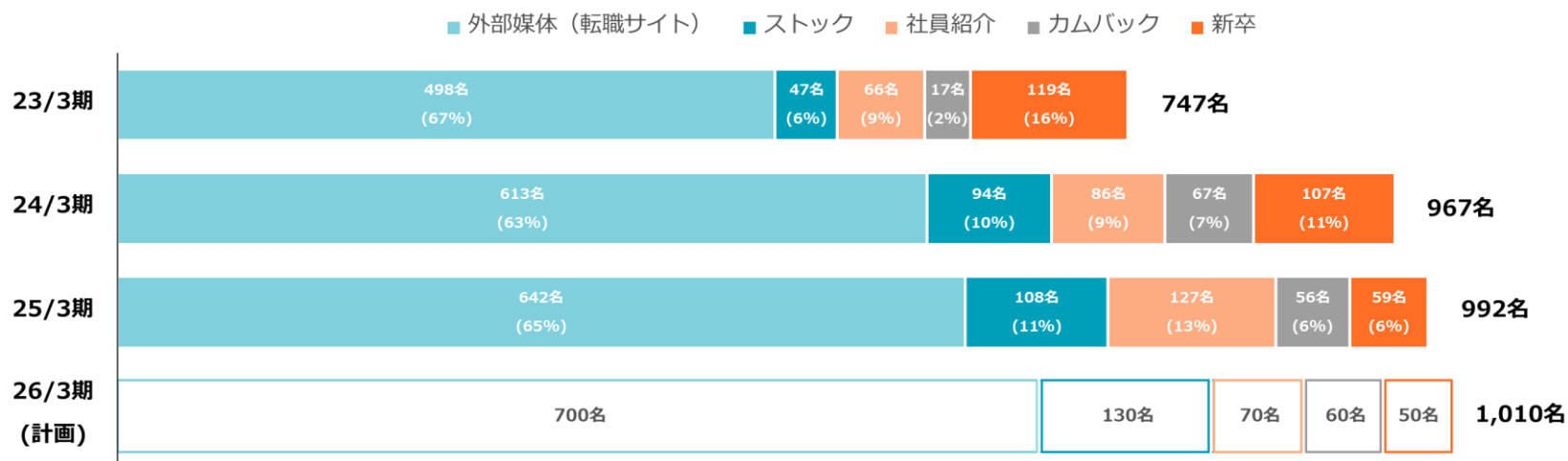
従業員持株会を設立。2024年12月より拠出開始。

【4/30時点の加入者】
 スタッフ 193名 (45 %)
 E S 1,316名 (28 %)

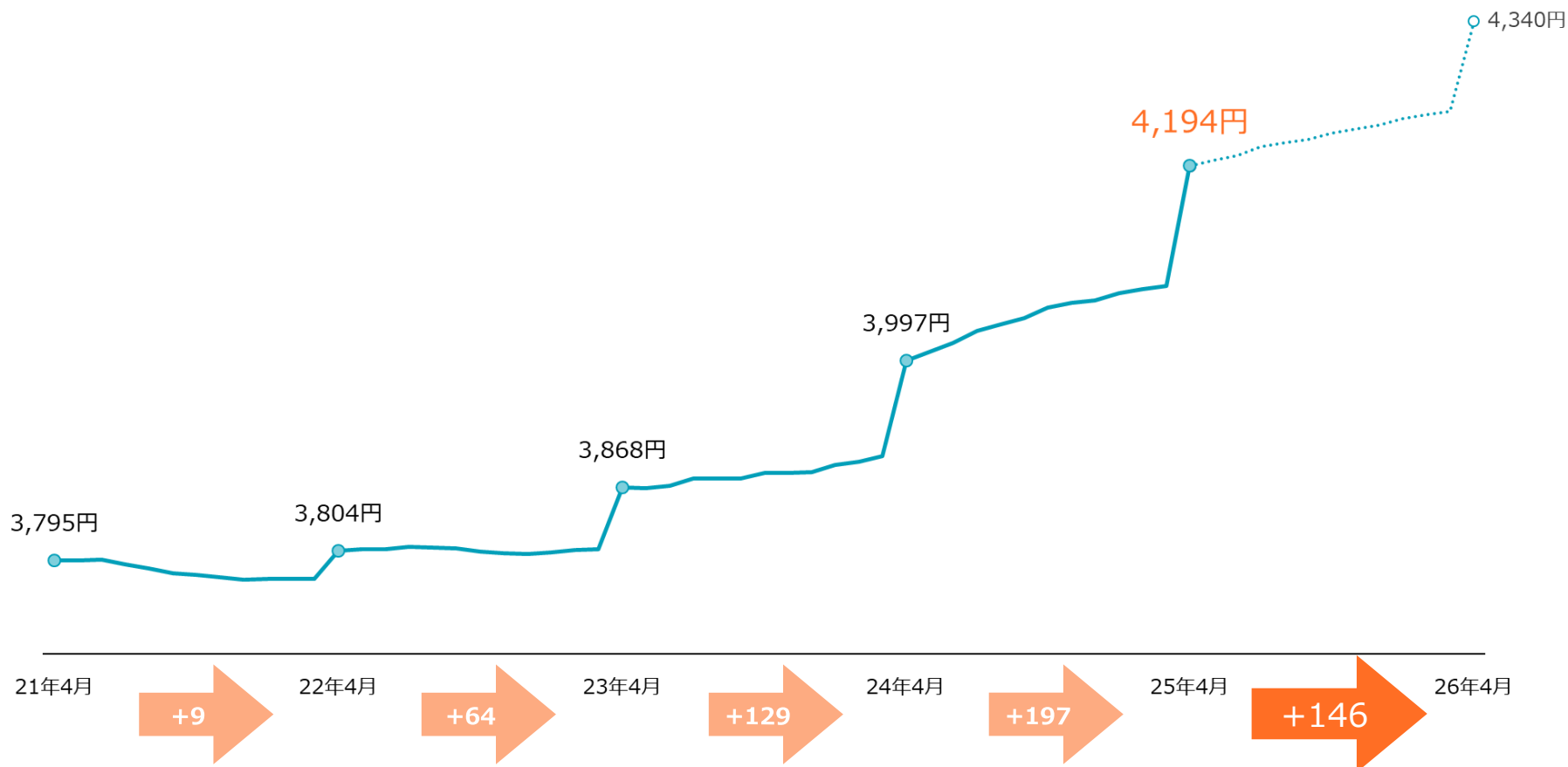
中途採用の4つの経路は全て順調に推移。
新卒採用は継続して費用をかけずに実施し、4月に50名が入社。

- ① 外部媒体 … 経験者採用のみに注力。さらに応募者の面接設定率を10%上げる仕組みを確立。
- ② ストック人材 … 過去の辞退応募者（約36,000名）に対し、再応募を促すメールを定期配信。
- ③ 社員紹介制度 … 紹介者（当社社員）に対してメールを定期配信し、協力を要請。
- ④ カムバック採用 … 過去の退職者（約7,000名）に対し、再雇用を促すメールを定期配信。
- ⑤ 新卒採用 … エンジニア職セミナーを通じてつながりのある教授から未内定学生の紹介を受ける。

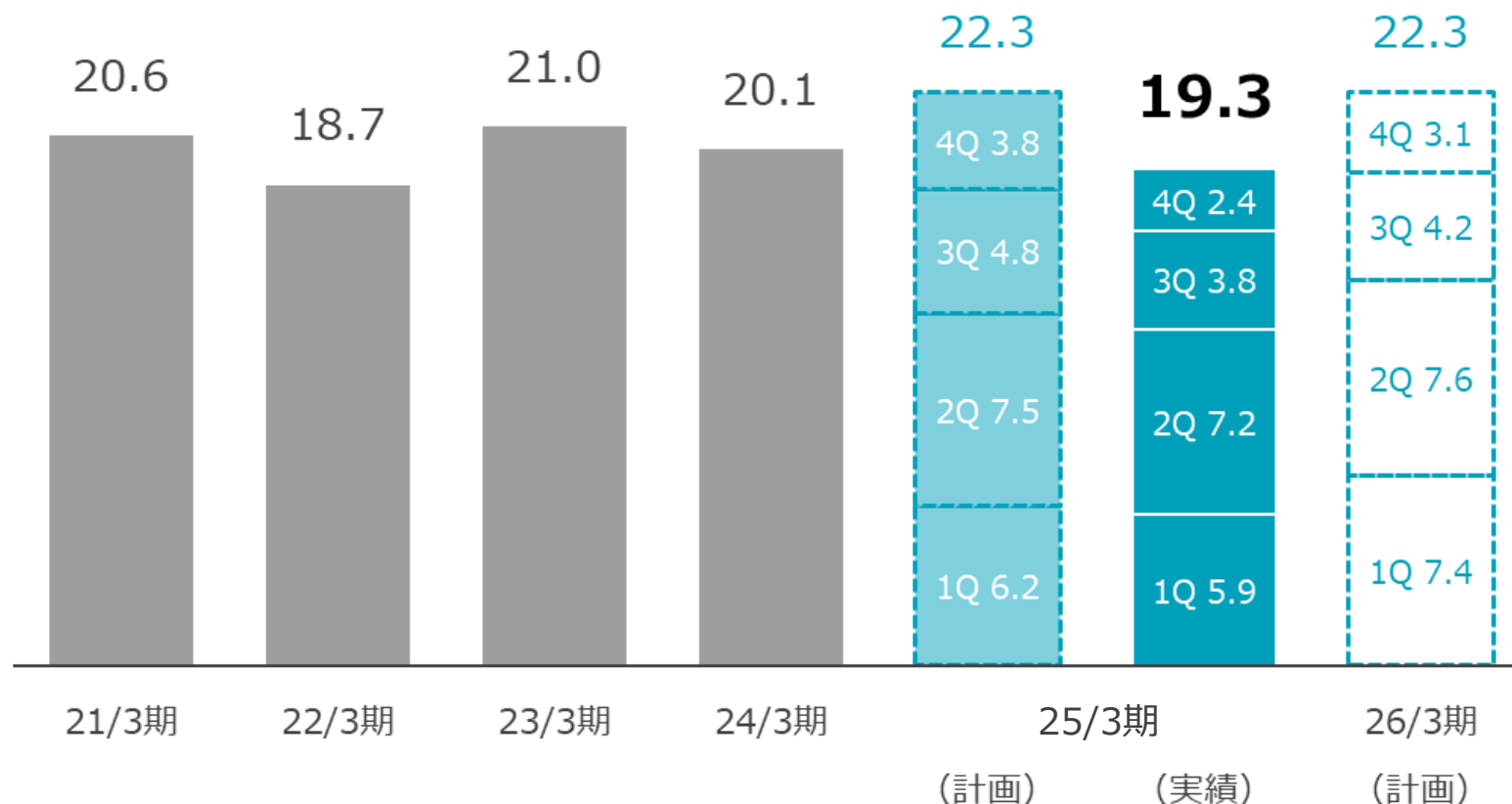
採用数 募集経路別内訳



前期 期初から197円アップの4,194円。毎年4月に実施する単価改定交渉の成果と、新規契約単価の上昇による。今期も継続して上昇を見込み、146円アップで計画。



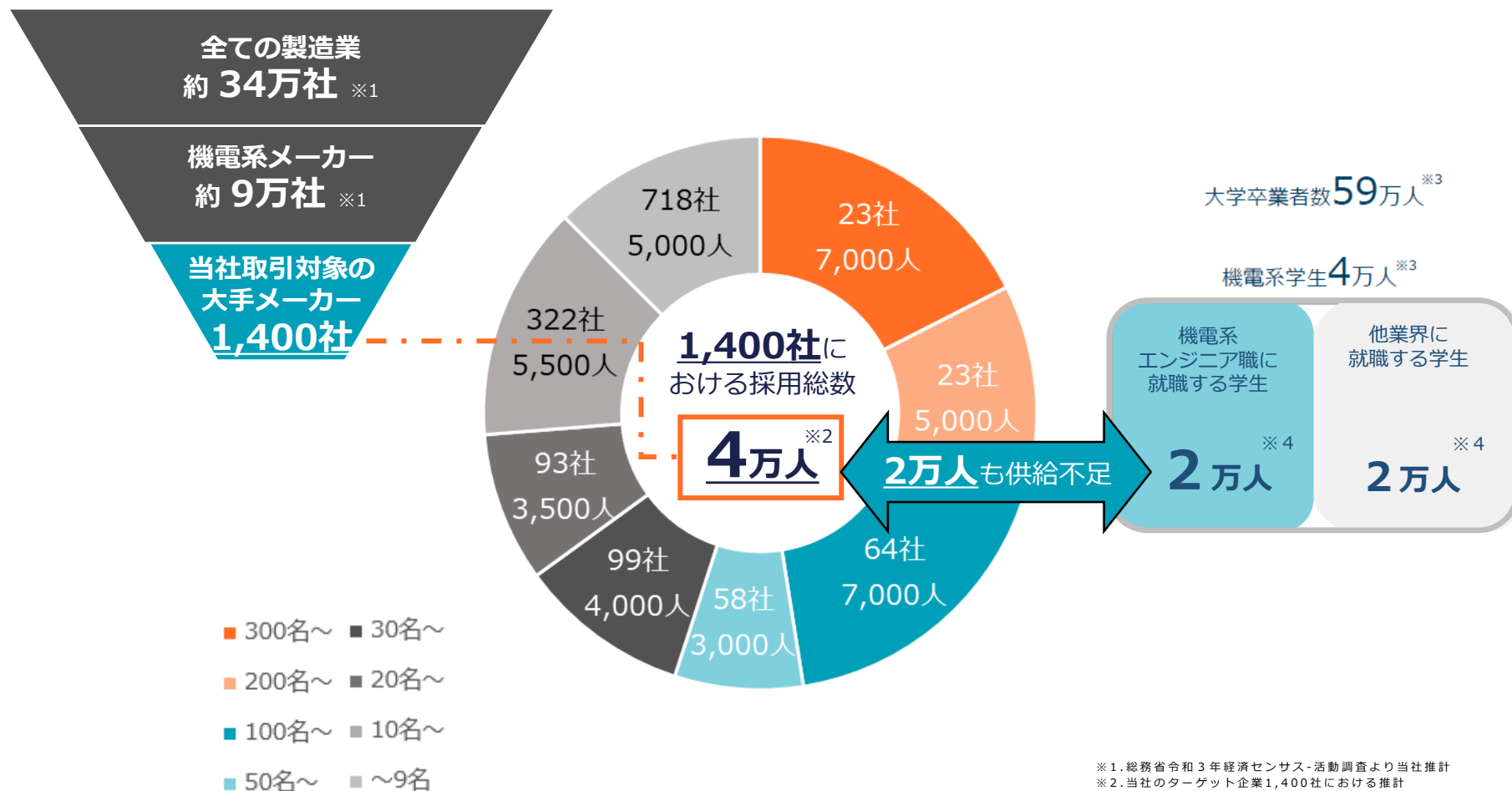
実績は19.3日と、前期比マイナス0.8日、計画比マイナス3.0日。
今期も同じく有休取得100%を推進し、22.3日の計画とする。



04. 国内各事業サービスの状況

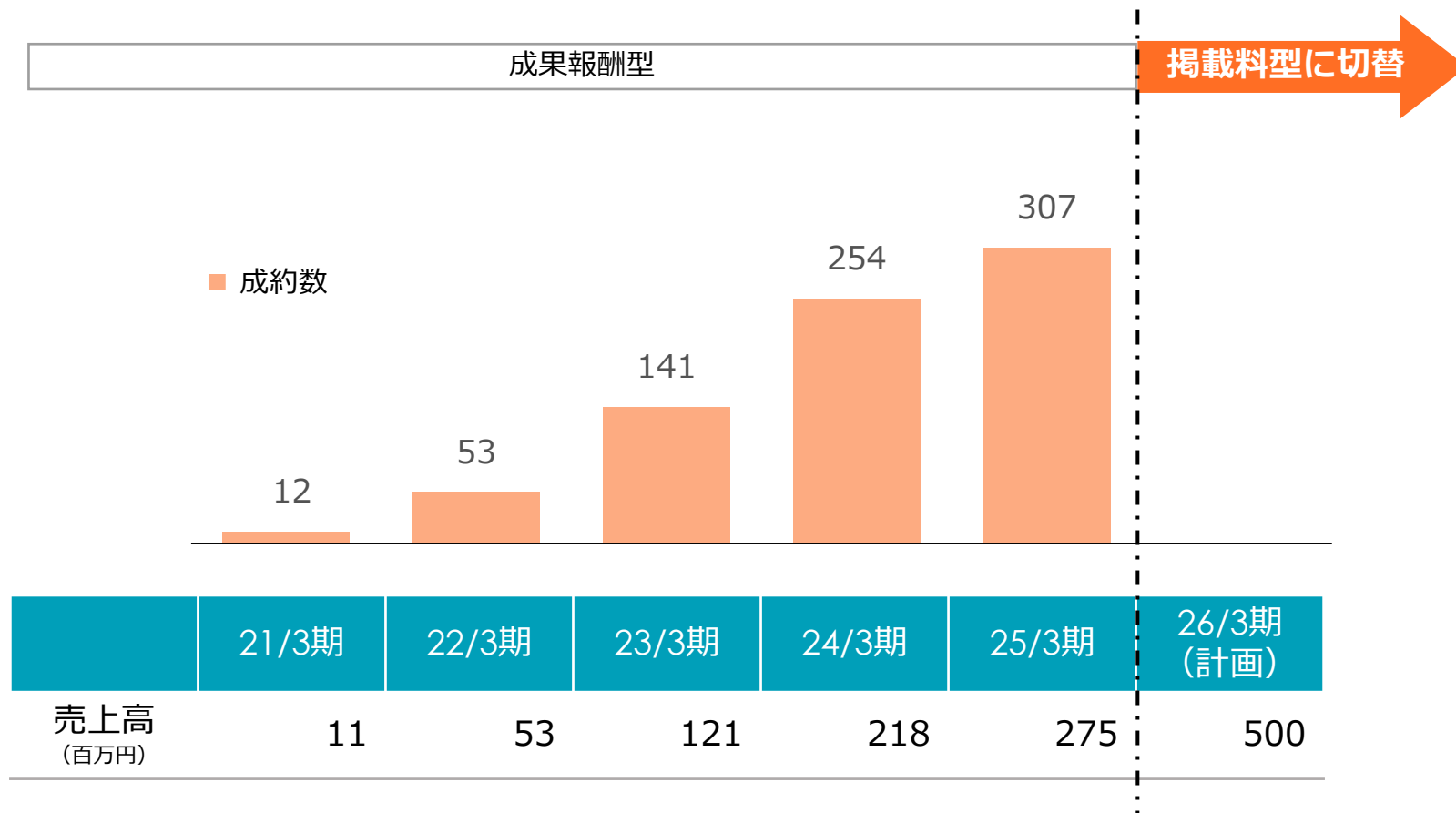
コグナビ新卒

毎年、約4万人の機電系学生が卒業しているにもかかわらず、約半数が他業界へ就職している。
エンジニアを志望する2万人の機電系学生を、約1,400社の4万枠で取りあっている状況。



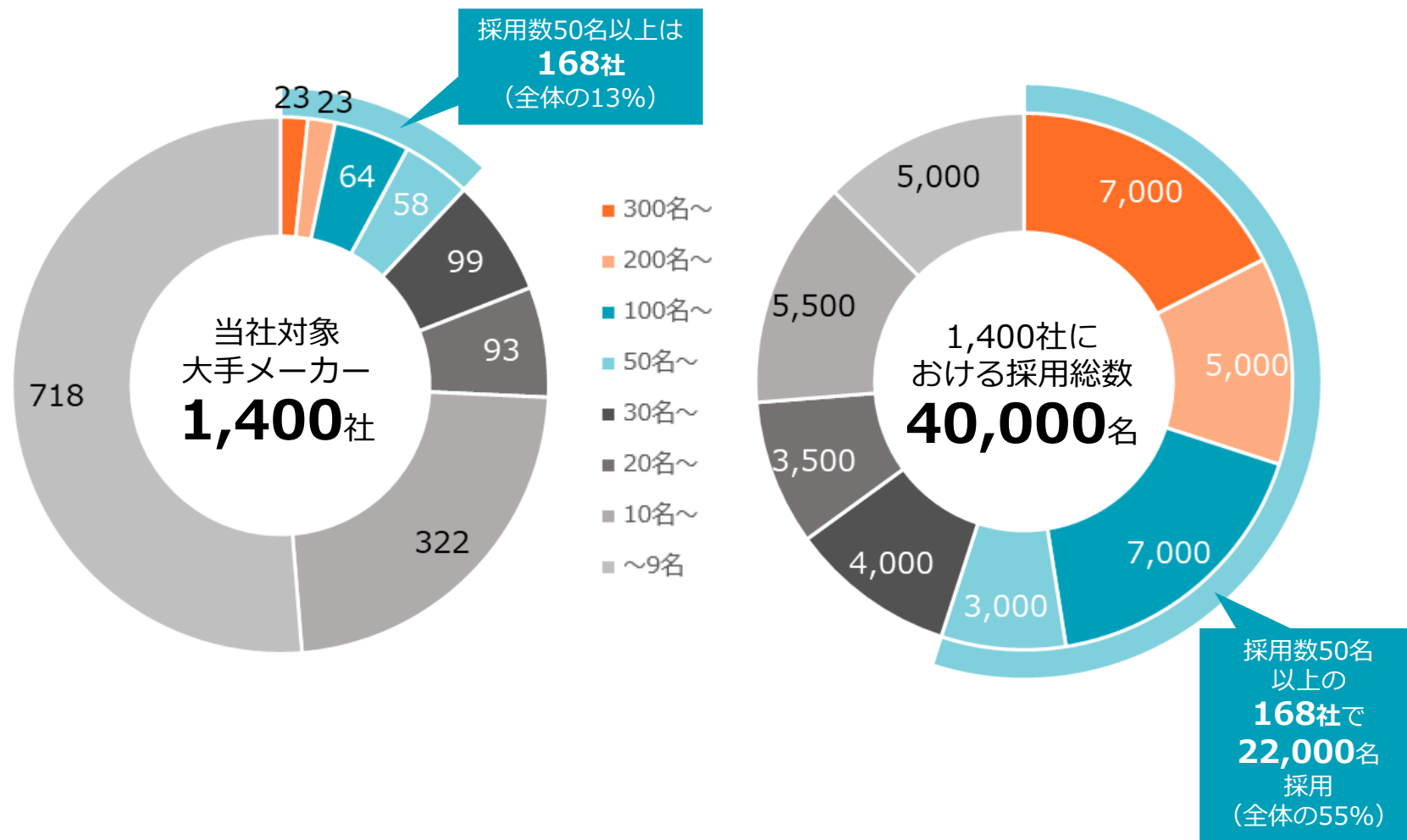
※1. 総務省令和3年経済センサス-活動調査より当社推計
 ※2. 当社のターゲット企業1,400社における推計
 ※3. 教育ソリューション(株) 全国学校データ2023より当社推計
 ※4. 令和5年 文部科学省 学校基本調査より当社推計

2025年卒業（2025/3月期売上）は307名が成約し、2億7,500万円の売上。
2026年／2027年卒業からは課金体系を掲載料型に戦略を変更し、5億円の売上を計画。

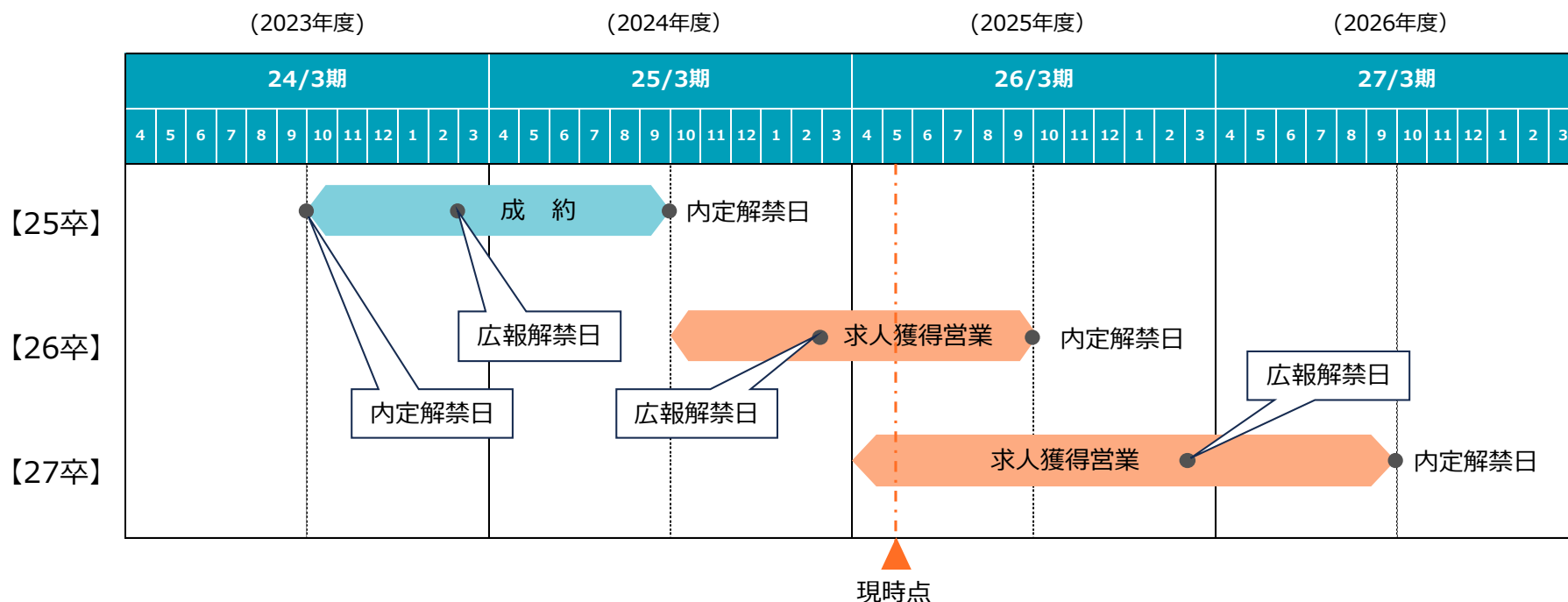


当社対象1,400社のうち、採用数50名以上は168社だが、その採用総数は22,000名と、全体の55%を占める。掲載料型に切替える事で、大手メーカーの掲載社数拡大を推進。

理工系新卒採用数

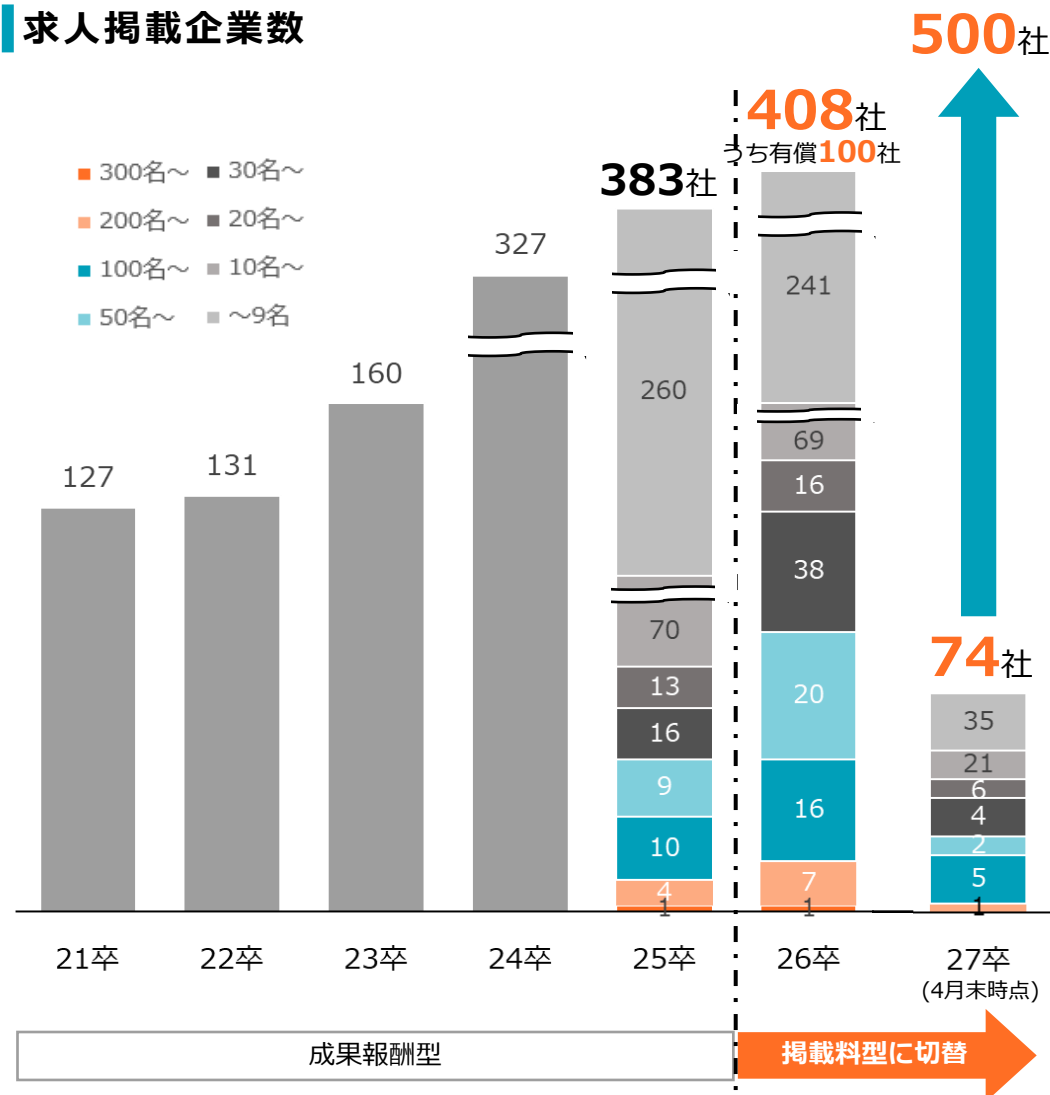


前期までの成果報酬型では、企業と学生が入社を合意した日に売上が計上される。
対して掲載料型では、掲載開始日に売上が計上されるため、その分半期前倒しになる。

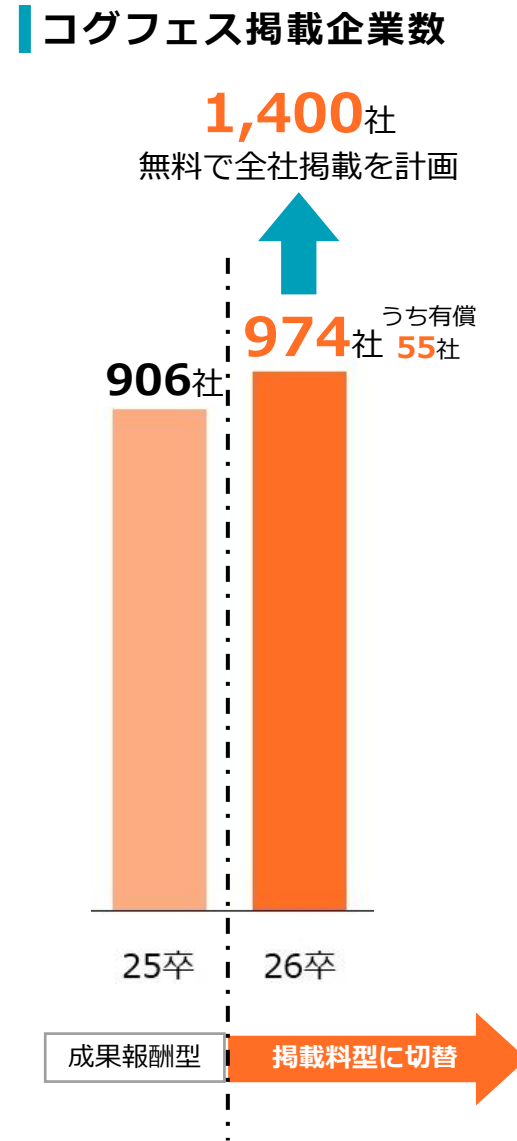


26卒での掲載は無料とし、27卒から有料に切り替える。現時点の有償契約分で、既に2億円の売上が確定。

求人掲載企業数

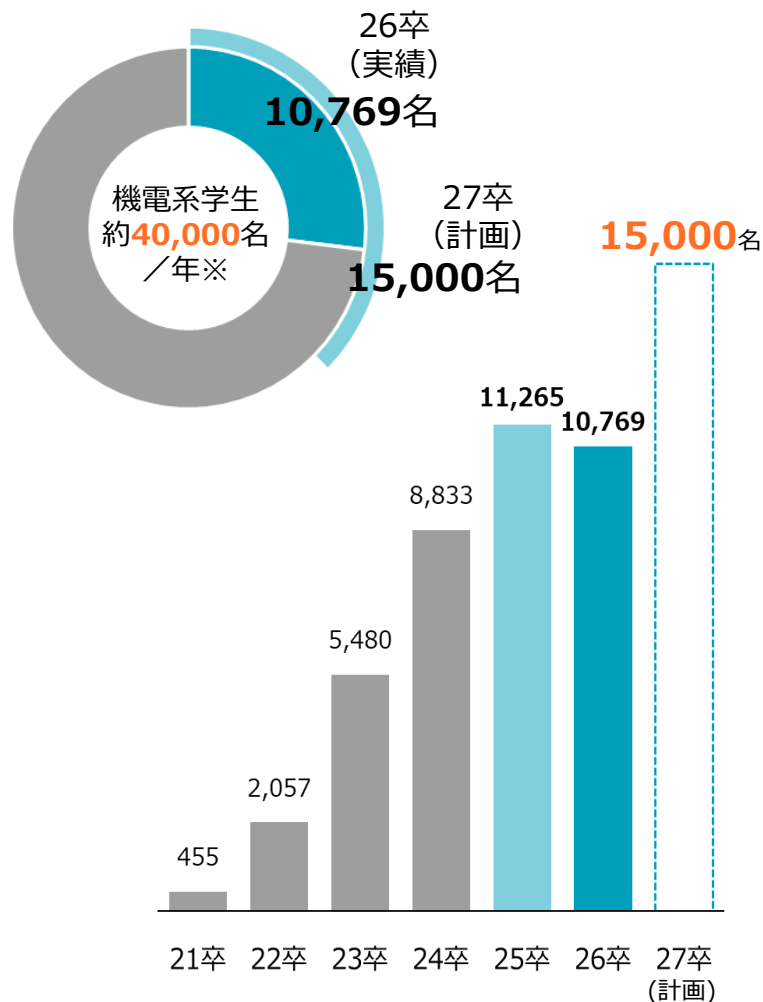


コグフェス掲載企業数

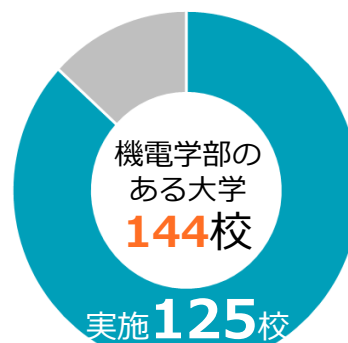


今期（27卒学生が対象）は15,000名を計画。
就活時期の前倒しに合わせ、エンジニア職セミナーも上期の開催を増やす。

コグナビ新卒登録会員数



セミナー実施大学・セミナーの様子



※ 学生数は教育ソリューション（株）
全国学校データ2023より当社推計



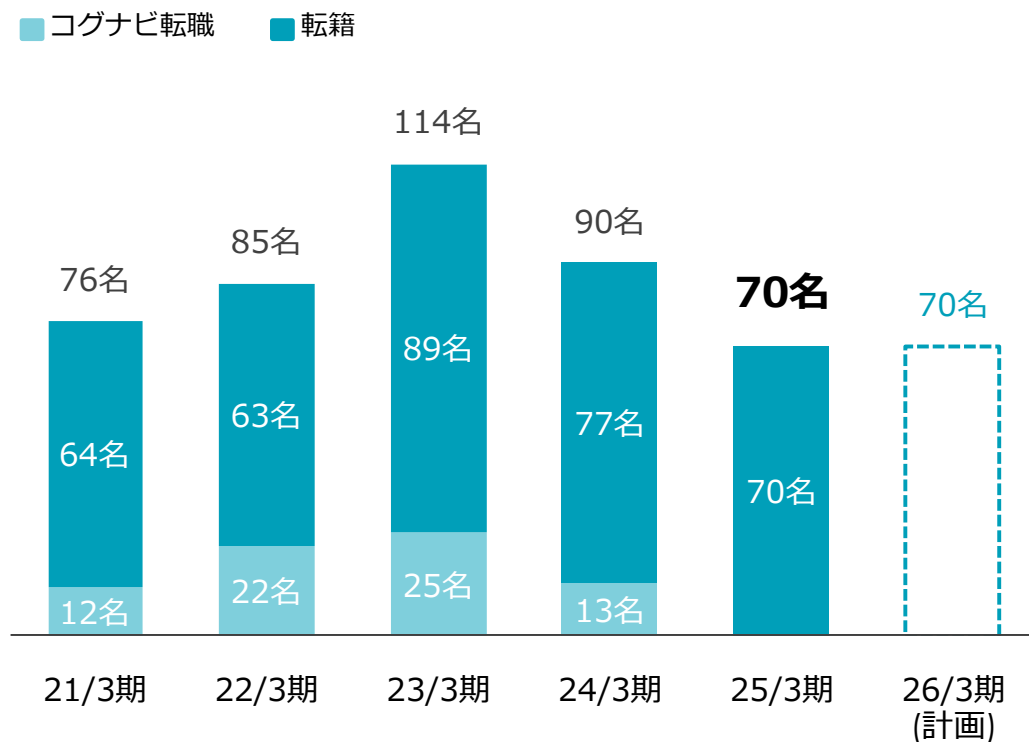
大学	中部大学
学部学科	工学部 機械工学科
講義形態	授業枠
セミナー 出席人数	159名
コグナビ新卒 会員登録数	154名

04. 国内各事業サービスの状況

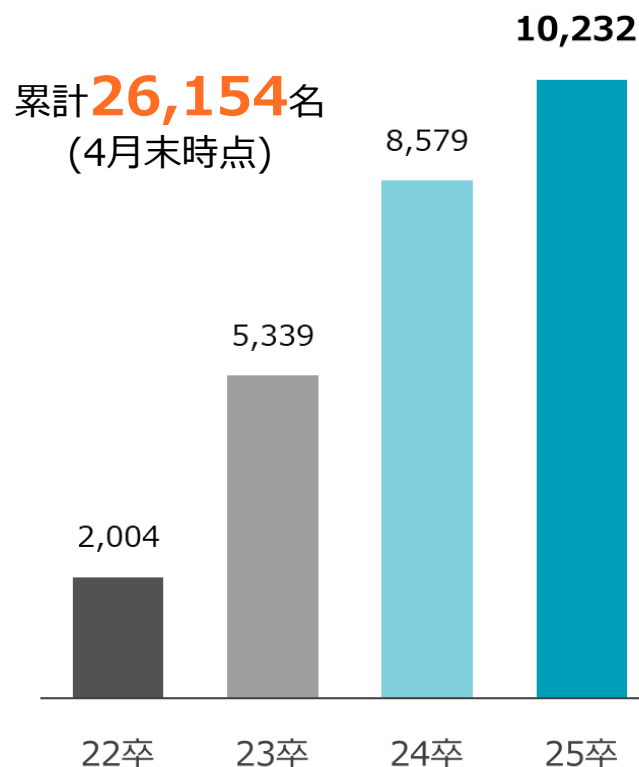
コグナビ転職・コグナビカレッジ

今期も継続してWeb広告やCM等の会員集客費用をかけず、派遣事業でのエンジニア社員がクライアント企業への直接雇用に移り替える、「転籍」のみ実施。

成約数



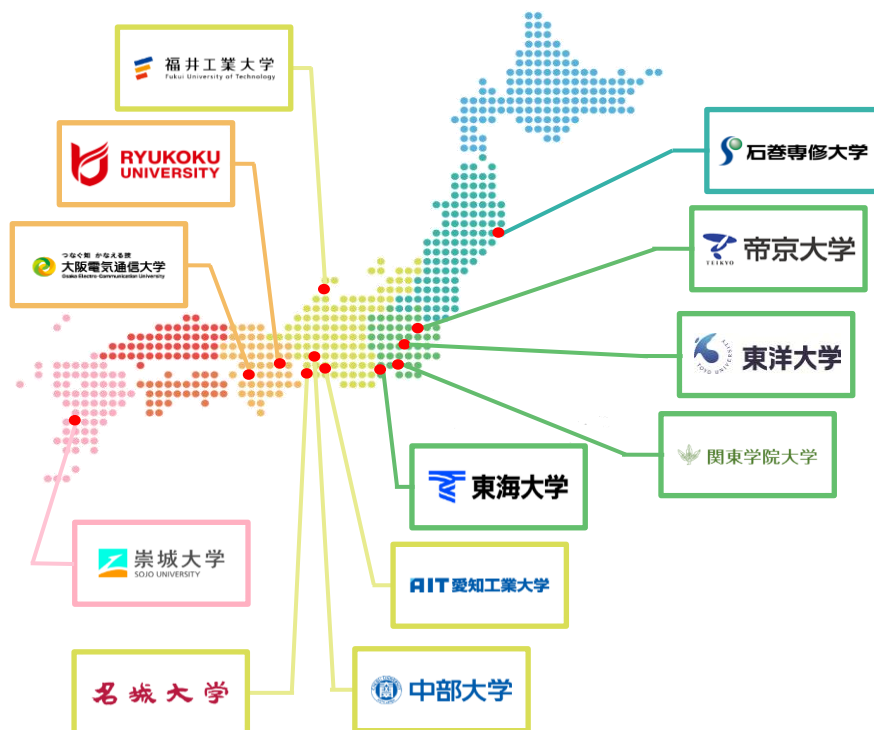
コグナビ新卒会員ストック数



814名が受講。そのうちコグナビ新卒経由で入社した新入社員を対象とした「基礎研修」の受講者は67名。今後もコグナビ新卒とセットで導入を推進し、事業の拡大を目指す。

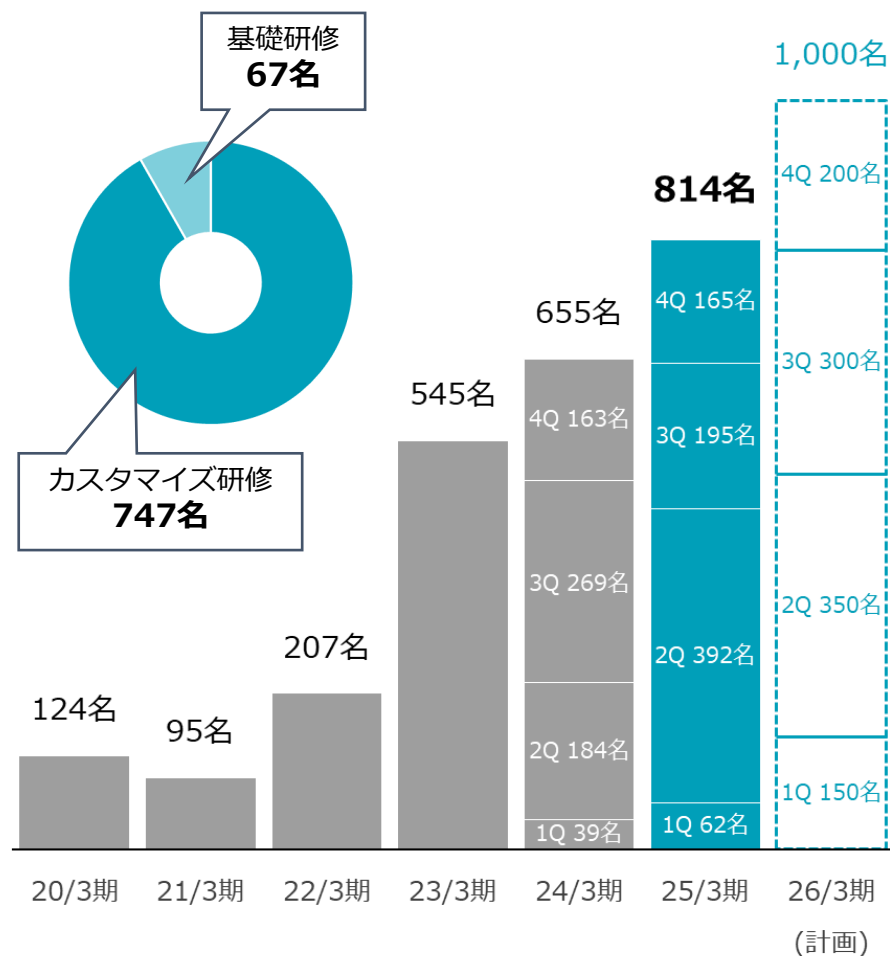
提携大学

注＊2025年5月末時点



計12大学と提携
教授数の総計：約850名

受講者数



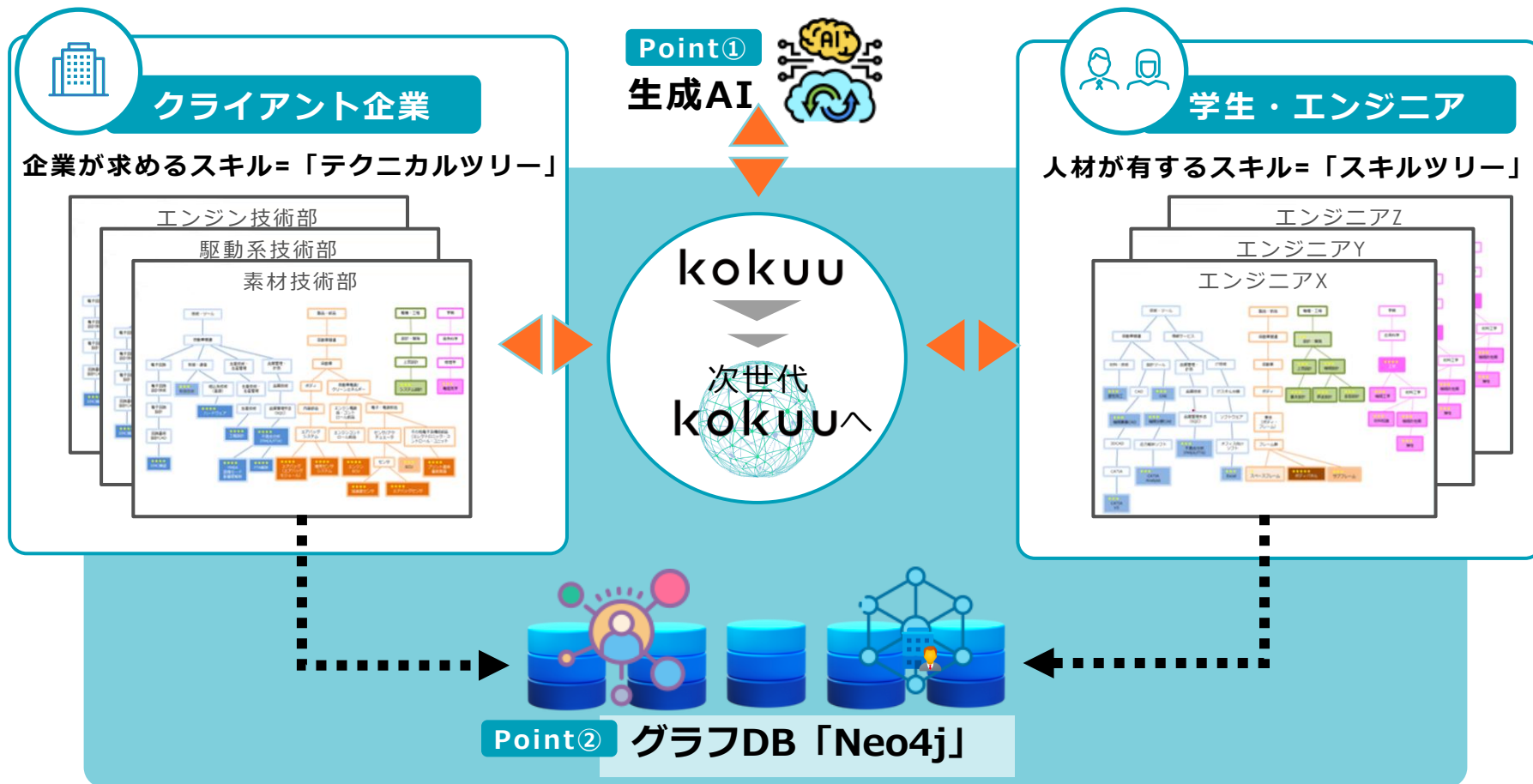
05

AIマッチングの再開発について

前期までの開発で、オファメール文面の自動生成を実用化。今期から開発をコグナビインディア社で実施することで内製化に切り替え、開発スピード向上とコストダウンを同時に実現。

Point① 生成AIと連携し、マッチングの可視化／数値化から「自然言語化」へ。

Point② グラフDB「Neo4j」を導入し、高速化とランニングコスト低減を同時に実現。



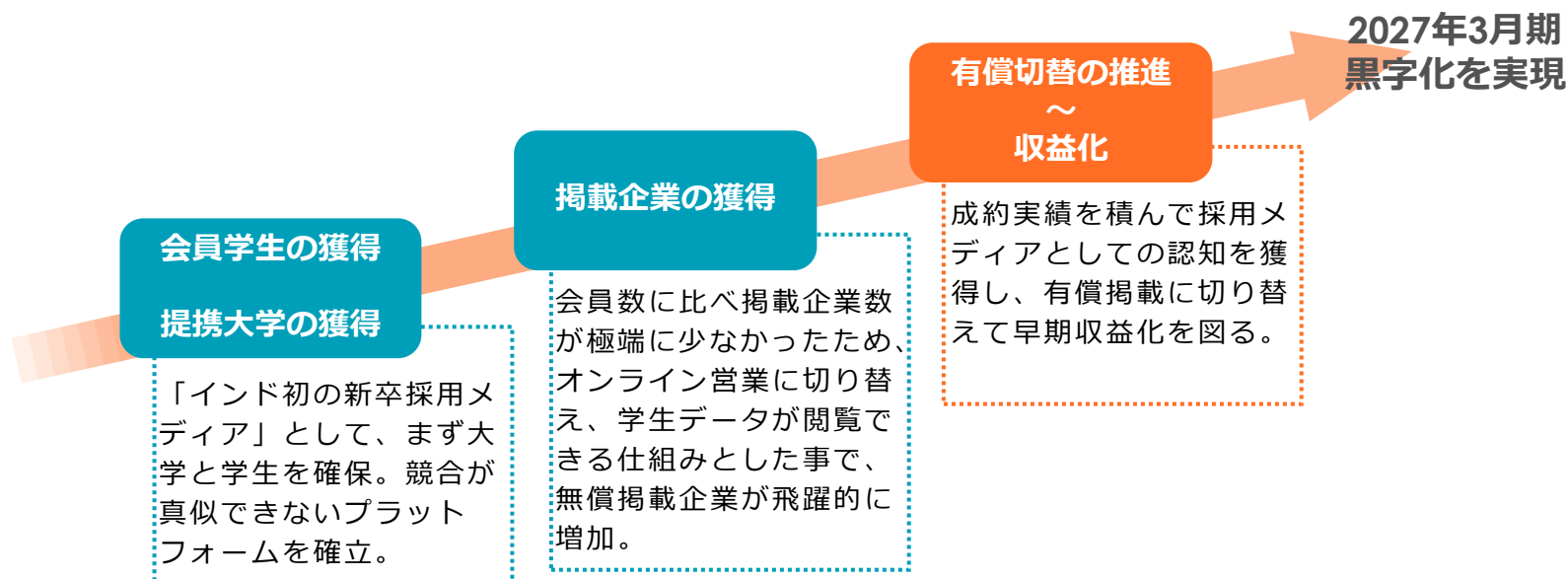
06

海外事業サービスの状況

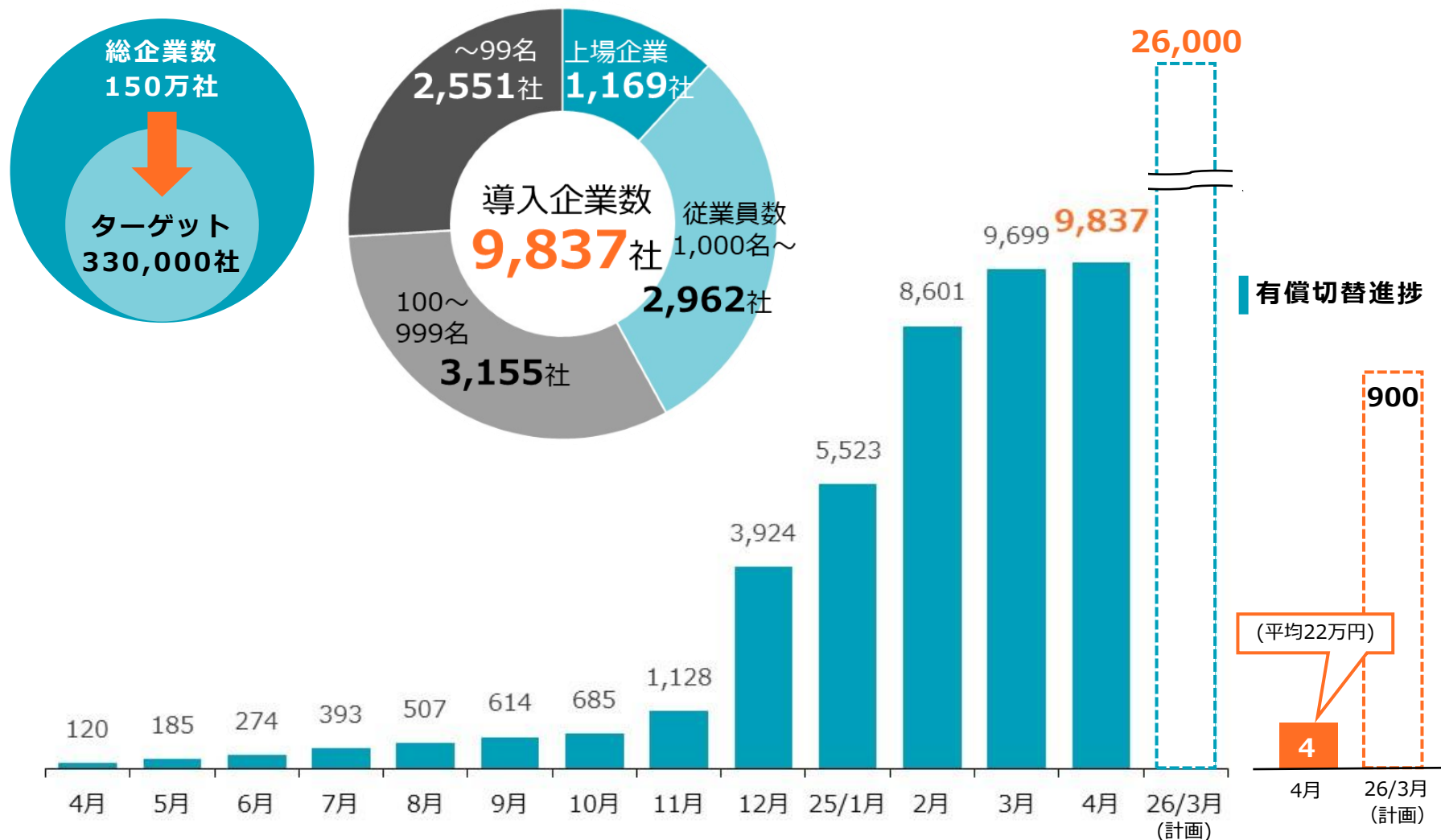
今期は利用企業／大学の有償化によって収益構造を確立し、2027年3月期の黒字化を目指す。

	2024年3月期 実績	2025年3月期 実績	2026年3月期 業績予想
売上高	0	20	310
営業利益	▲ 193	▲ 371	▲ 170

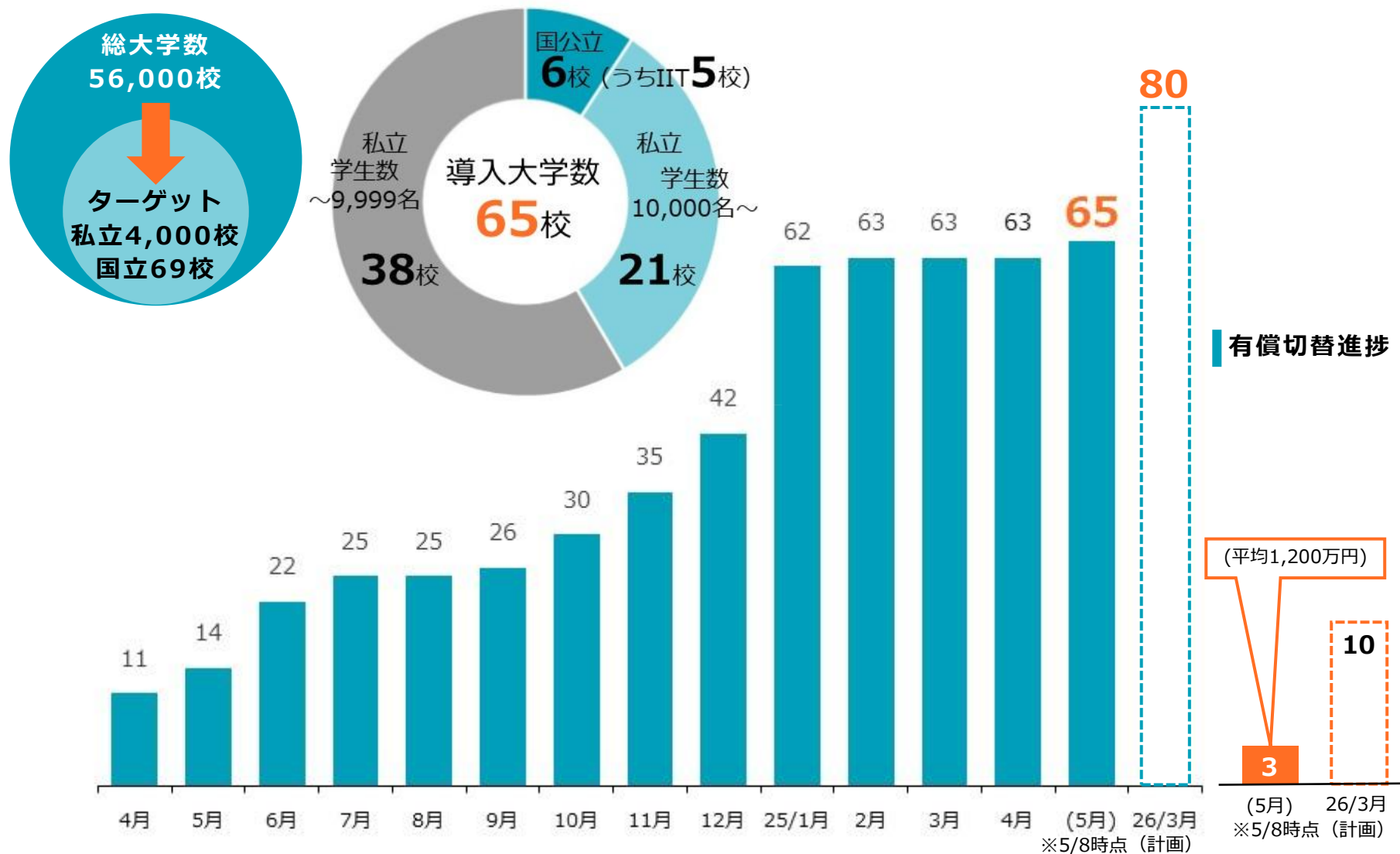
(単位：百万円)



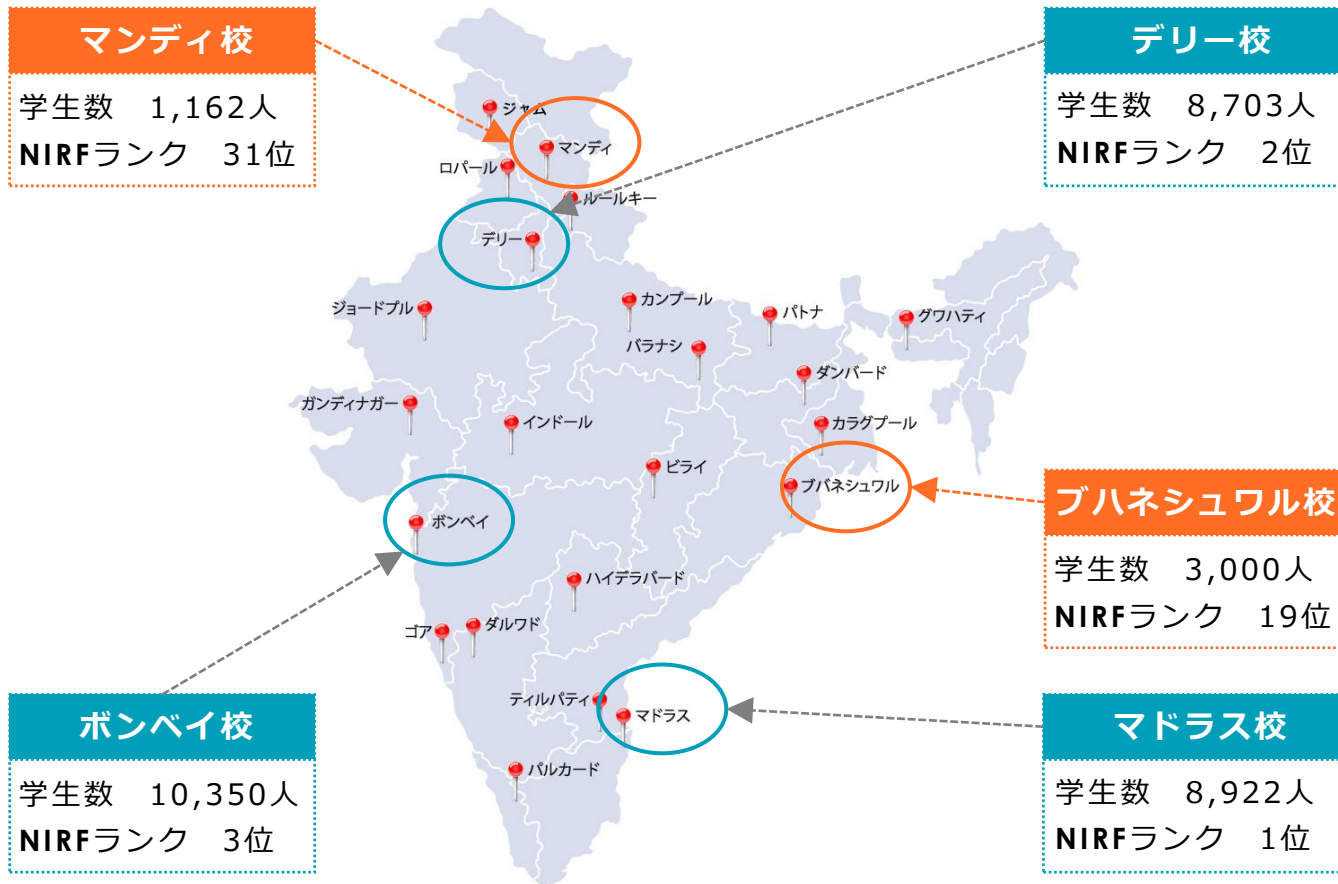
オンライン営業による無料での掲載企業獲得に戦略を変更し、9,837社が導入。
今期は従業員数100名以上の企業に注力し、有料への切替を図り、900社切替の計画とする。
並行して新たな無料掲載企業を獲得し、来期の黒字化に向けて企業数を増やす。



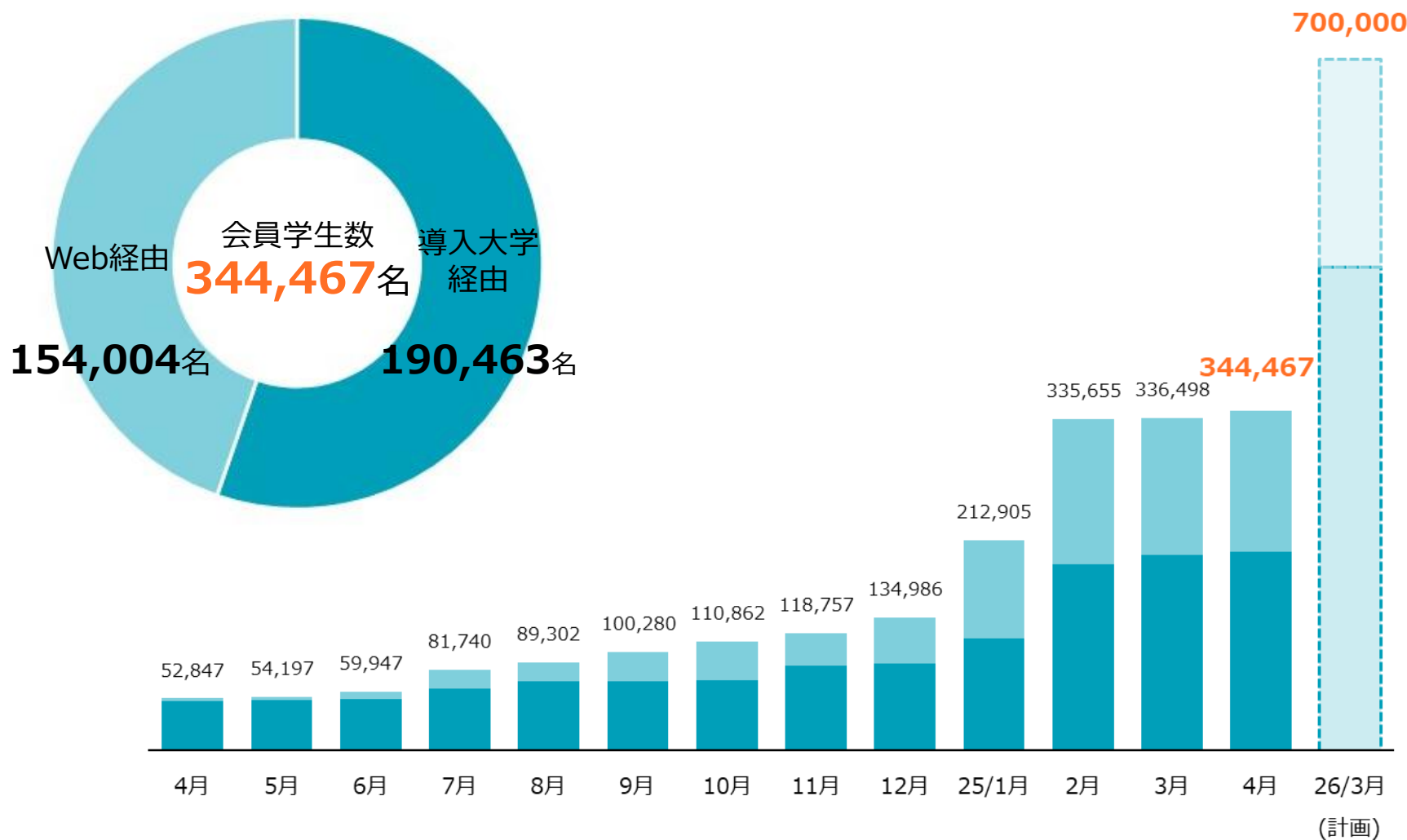
65校が導入。学生数の多い私立大学に絞り、有償への切替を図り、10校切替の計画とする。
並行して新たな導入大学の開拓を進め、80校の契約を目指す。



優れたエンジニアの輩出で世界的に有名なインド工科大学（IIT）のうち、新たに2校（マンディ校、ブハネシュワル校）へのサービス提供を開始。引き続き全校との契約を目指す。



会員数は34万名を突破。導入大学の学生に加え、Web経由での会員登録も増加。
今期も導入大学の増加に伴う会員増を見込み、3月末までに70万名の計画とする。

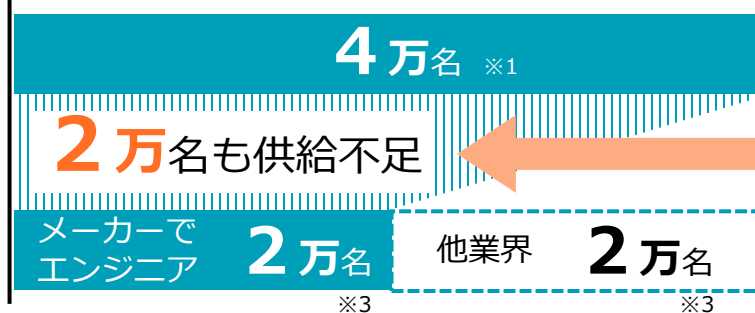


日本語を学ぶインドの理工系学生を、コグナビ新卒を介して日本の大手メーカーにエンジニアとして就職させる、紹介プログラムをスタート。

日本における新卒採用の課題

当社取引対象の大手メーカー
1,400社における採用総数

機電系学生 **4万名** / 年の
就職先 ※2



※1. 当社のターゲット企業1,400社における推計
※2. 教育ソリューション(株) 全国学校データ2023より当社推計
※3. 令和5年 文部科学省 学校基本調査より当社推計

日本語を学ぶインドの理工系学生

大学名	NIRF ランク	1 学年あたりの 学生数	日本語を学ぶ 理工系学生数
IIT マドラス	1	2,300	300
IIT ボンベイ	3	2,400	800
IIT デリー	4	12,000	500
SRM University	13	13,000	100
Anna University	14	4,000	100
KL University	22	12,000	200
Symbiosis Institute of Technology	31	2,200	400
Univo Education Private Limited	32	90,000	3,000
⋮	⋮	⋮	⋮
65校		40万名	1万名



07

投資家エンゲージメントについて

前期は国内外の機関投資家との面談を延べ**96回**実施。面談では自社戦略や経営計画などを丁寧に説明し、対話を通じて長期的な信頼関係の構築を進めている。

主な面談テーマ

- ・エンジニア採用が順調な理由
- ・海外事業（インド）の状況、今後の成長戦略
- ・コグナビ新卒事業の成長可能性

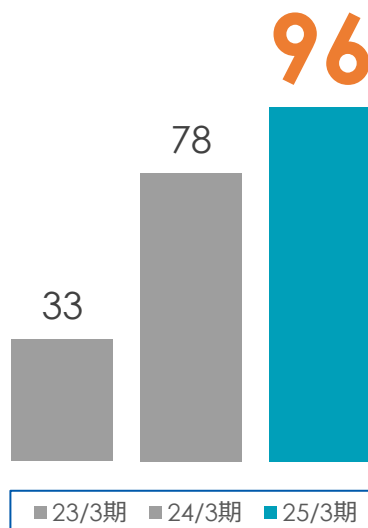
主な面談対応者

- ・代表取締役兼社長執行役員
- ・広報・IR担当執行役員
- ・広報・IR担当部員

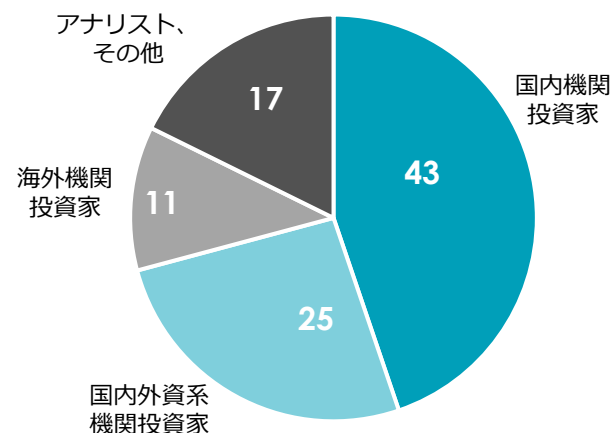
アナリストカバレッジ

- ・株式会社SBI証券 森本 展正 氏
- ・株式会社いちよし経済研究所 納 博司 氏

面談数



96件の内訳



08

Appendix

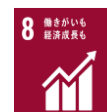
E

- ・再エネとDXを積極的に活用し、環境負荷を低減



S

- ・機械・電気系学生向け「エンジニア職セミナー」活動を継続
- ・大学でエンジニア向け企業研修、リスキリングの企画・実施
- ・スキルや学びをベースにした独自のAIマッチング技術の活用
- ・レスキューロボットコンテスト、RoboCupジャパンオープン協賛
- ・理工系大学を目指す高校生向けセミナーでの講演
- ・ノーマライゼーション事業の推進
- ・インドと日本の大学交流を支援（印日学生の短期学術交流プログラム）



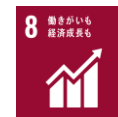
G

- ・バランスの取れたガバナンス体制の維持
- ・サイバーセキュリティへの対応



SRM大学 AP校と提携し、日本の工学系の教授と学生を、当社が費用負担※し、同大学へ招待する企画。滞在中はキャンパス内の宿泊施設で過ごし、授業への参加や現地企業の見学を通じて、教授や学生と交流。今期も継続して実施予定。

→ 25/3期は8大学、教授14名と学生46名が参加。



参加時期	大学名	参加教授数	参加学生数
2024/8	東海大学	2名	5名
2024/8	東京理科大学	2名	4名
2024/9	千葉工業大学	2名	5名
2024/9	広島工業大学	1名	3名
2024/10	崇城大学	1名	5名
2025/2	日本大学	2名	6名
2025/2	龍谷大学	2名	8名
2025/3	慶應義塾大学	2名	10名



SRM大学 AP校 (SRM University, Andhra Pradesh)

1985年創立。インドの私立大学の中では最大の規模（学生52,000名、教員3,200名）かつ学カレベルもトップランクに入る大学グループのひとつ。アーンドラ プラデーシュ州（A P州）をはじめ、チェンナイなどインド国内6都市に計8つのキャンパスがあり、6つの学部（工学・技術、経営、医学・健康科学、科学・人文科学、法律、農学）を有する、総合大学。日本を含む世界各国の企業との共同開発や、大学との交流プログラムなども、積極的におこなっている。



※SRM大学 AP校の最新施設

地球規模で気候変動問題が重要視される中、
当社はカーボンニュートラル達成に向けた目標を設定、
気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）に基づく情報開示を実施しました。



リスク管理

中期経営計画「cognavi Vision2026」におけるサステナビリティに対する考え方、及び取組みを全社活動目標として設定し、目標達成に向けた取組みをレビューし、社内会議体にて適宜モニタリングする運用としています。
また、サステナビリティに関するリスク・機会について、可能性と影響度の観点から、重要度の高い項目に絞り込んで取組み、自社の事業活動に大きく関連するリスク・機会については、経営会議等で確認を行い、経営戦略及びリスク管理へ反映します。

指標と目標

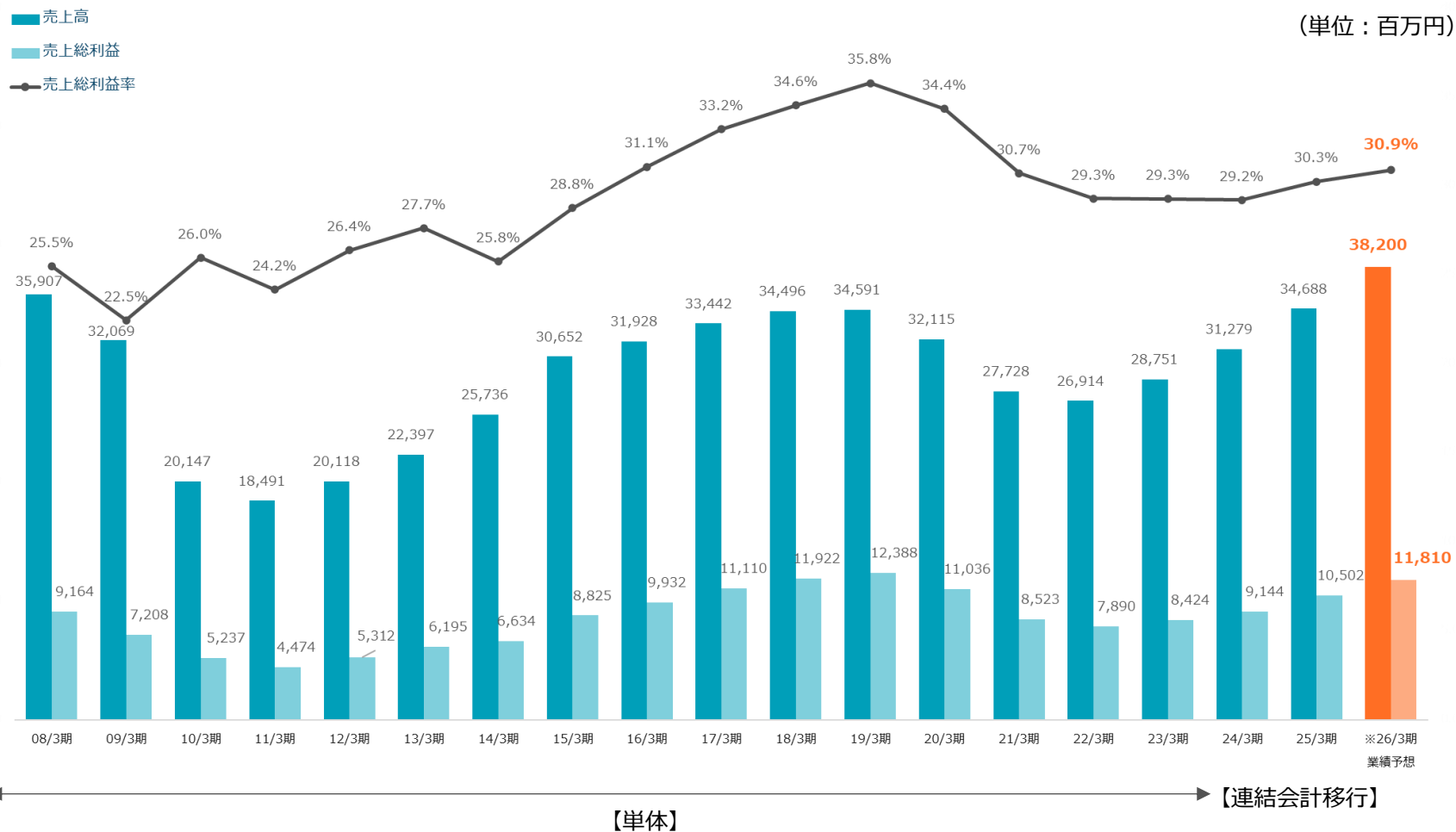
2050年のカーボンニュートラル実現を長期的な目標として設定し、2024年度にGHG排出量の算定を実施しました。
引き続き、再生可能エネルギーの導入拡大・強化や事業活動からのCO2排出量の最小化に取り組んでいきます。

単位：tCO2

	2023年度実績	2025年目標
Scope1	73	カーボンニュートラル
Scope2	116	
計	189	

※上記数値は（株）フォーラムエンジニアリング単体

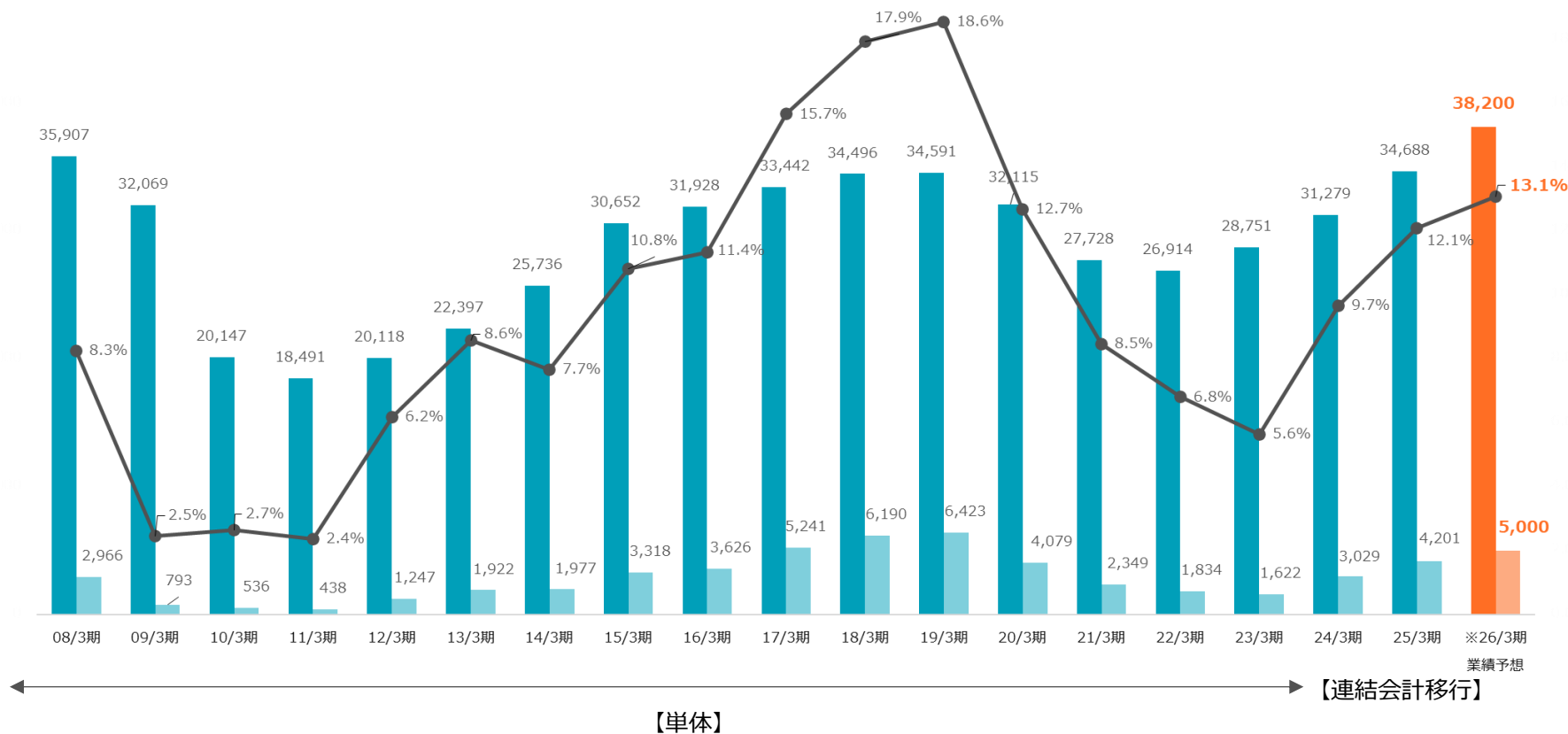
売上高、売上総利益、売上総利益率の推移



売上高、営業利益、営業利益率の推移

■ 売上高
■ 営業利益
● 営業利益率(右軸)

(単位：百万円)



2024年3月期より連結会計に移行

損益計算書 (百万円)

	実績		
	23/3期 【単体】	24/3期 【連結】	25/3期 【連結】
売上高	28,751	31,279	34,688
売上総利益	8,424	9,144	10,502
	29.3%	29.2%	30.3%
販売費及び一般管理費	6,802	6,115	6,300
	23.7%	19.5%	18.2%
営業利益	1,622	3,029	4,201
	5.6%	9.7%	12.1%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,163	2,039	2,884
	4.0%	6.5%	8.3%

貸借対照表 (百万円)

		23/3期 【単体】	24/3期 【連結】	25/3期 【連結】
流動資産	現金及び預金	10,395	11,006	11,633
	流動資産合計	14,492	15,117	15,960
	有形固定資産	435	417	500
資産の部	無形固定資産	1,391	1,157	1,077
	投資その他の資産	1,380	1,225	1,239
	固定資産合計	3,207	2,800	2,818
資産合計		17,700	17,918	18,778
流動負債合計		5,728	4,618	5,526
負債の部	固定負債合計	-	9	87
	負債合計	5,728	4,628	5,614
株主資本合計		11,972	12,921	12,913
純資産の部	純資産合計	11,972	13,289	13,164
	負債純資産合計	17,700	17,918	18,778

キャッシュフロー計算書 (百万円)

	23/3期 【単体】	24/3期 【連結】	25/3期 【連結】
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,515	3,299	3,969
減価償却費	336	400	406
投資活動によるキャッシュ・フロー	△594	△1,078	110
有形及び無形固定資産の取得による支出	△499	△209	△284
フリー・キャッシュ・フロー ¹	921	2,221	4,079
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,215	△2,771	△2,970
現金及び現金同等物の期首残高	13,690	10,434	9,904
現金及び現金同等物の期末残高	10,395	9,904	10,990

注＊1営業活動によるキャッシュフロー+投資活動によるキャッシュフロー

〈KPI項目〉	23/3期					24/3期					25/3期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
・ 案件数 (件)	2,135	2,122	2,490	2,460	9,207	2,572	3,410	2,872	2,519	11,373	2,534	2,504	2,556	2,303	9,897
・ 中途採用数 (名)	107	150	187	184	628	222	240	209	189	860	231	265	208	229	933
・ 新卒採用数 (名)	119	—	—	—	—	107	—	—	—	—	59	—	—	—	—
・ 退職数 (名)	96	183	130	138	547	112	165	164	167	608	130	202	162	193	687
・ 退職率 (%)	—	—	—	—	13.5	—	—	—	—	13.9	—	—	—	—	14.7
コグナビ派遣 ・ 在籍技術者数 (名)	3,904	3,914	3,964	4,019	—	4,190	4,284	4,336	4,340	—	4,470	4,539	4,589	4,645	—
・ 稼働者数 (名)	3,834	3,857	3,913	3,927	—	4,046	4,137	4,229	4,224	—	4,337	4,392	4,466	4,486	—
・ 稼働率 (%)	97.9	98.5	98.5	98.2	98.3	96.5	96.5	97.2	97.4	96.9	98.5	98.3	98.3	98.4	98.4
・ 稼働時間 (時間)	157.7	154.3	160.6	156.7	—	157.6	153.1	163.6	153.7	—	157.9	154.5	164.1	154.6	—
・ 派遣単価 (円)	3,807	3,806	3,802	3,826	—	3,872	3,879	3,886	3,931	—	4,016	4,041	4,056	4,072	—

注 * 在籍技術者数、稼働者数は、四半期末日時点の人数

* 稼働率は、該当四半期の3か月の月末時点における在籍技術者数の総和を分母、同時点の稼働者数の総和を分子として算出
尚25/3期より「入社後未就業のエンジニア」を除いた数値を掲載（1Q分は遡及修正済）

* 「入社後未就業のエンジニア」とは、当社に入社後、最初の就業先企業が未定のエンジニアのことを指す

* 稼働時間は、該当四半期の3か月の月稼働時間の平均で計算

* 派遣単価は、各四半期末時点の契約単価の平均値

* コグナビ派遣サービスに関する各KPIについては、退職者を除く正社員の在籍技術者を対象とした集計値

〈KPI項目〉		23/3期				24/3期				25/3期			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
24卒	・ 求人掲載企業数（社）	25	115	186	263	311	325	327	327	—	—	—	—
	・ 登録会員数（名）	3,934	4,754	7,977	8,537	8,669	8,726	8,808	8,833	—	—	—	—
	・ 成約数（名）	—	—	—	14	144	240	259	254	—	—	—	—
コグナビ新卒 25卒	・ 求人掲載企業数（社）	—	—	—	—	—	197	326	344	365	383	383	383
	・ 登録会員数（名）	—	—	—	—	4,973	6,296	10,587	11,154	11,265	11,265	11,265	11,265
	・ 成約数（名）	—	—	—	—	—	—	—	18	220	287	305	307
26卒	・ 求人掲載企業数（社）	—	—	—	—	—	—	—	—	77	250	318	325
	・ 登録会員数（名）	—	—	—	—	—	—	—	—	6,041	7,253	10,412	10,716
	・ 成約数（名）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

注＊ 求人掲載企業数、登録会員数、成約数は全て累計数字

本資料には当社の現在の見通し、予想、目標、計画等を含む将来に関する記述が含まれています。
将来予想に関する記述には、将来に関する記述であることを示すためにすべてではありませんが、「信じる」、「予想する」、「計画する」、「戦略をもつ」、「期待する」、「予想する」、「予測する」又は「可能性がある」というような表現を、あるいは将来の事業活動、業績、出来事や状況を説明するその他「類似した表現」を用いています。

将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報をもとにした当社の経営陣の判断に基づいています。
そのため、これらの将来予想に関する記述は、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の業績その他の結果は、将来予想に関する記述に明示又は黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。
従って、将来予想に関する記述に全面的に依拠することのないようご注意ください。新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、将来予想に関する記述を変更又は訂正する一切の義務を当社は負いません。

本資料に記載されている当社以外の企業等に関する情報及び第三者の作成に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、そのデータ・指標等の正確性・適切性等について、当社は独自の検証は行っておらず、何らその責任を負うことはできません。

本プレゼンテーション資料は、当社の関連情報の開示のみを目的として作成したものであり、当社及び当社の普通株式に関する全ての情報を含むものではありません。当社の普通株式への投資判断は、当社が開示している資料をご覧ください、そこに含まれる全ての情報を検討した上で行ってください。

本資料に掲載されている情報は、日本語で作られています。英語翻訳による情報は、海外の投資家の便宜を図る目的から提供しているものです。日本語と英語での解釈に相違がある場合、日本語が優先します。



株式会社フォーラムエンジニアリング

▼お問い合わせ先

株式会社フォーラムエンジニアリング 広報・IR部

東京都港区虎ノ門2-10-4 オークラプレステージタワー15階

メール： ir@forumeng.co.jp